

文部科学省科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）
令和3年度報告書

学校法人 東京女子医科大学
女性医療人キャリア形成センター



Your **A**ttention to **Y**our **O**wn **I**nnovation!

はじめに



東京女子医科大学 解剖学講座 神経分子形態学分野 准教授
同 ダイバーシティ環境整備事業推進室 室長
本多 祥子

このたび、令和3年度文部科学省ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)に選定され、全学体制で「グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用『YAYOI プロジェクト』」の取組みを開始する運びとなりました。はじめに、多大なご理解とご尽力をいただいた関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

ここに至るまでには、本学の学祖吉岡彌生先生をはじめ偉大な先人の弛まぬ努力があり、さらに本学が120年以上にわたり培ってきた女性医療人活躍推進の精神的基盤が重要な意味を持つことは申し上げるまでもありません。この貴重な背景を十分に活かし、将来グローバルヘルスリーダーとして国際社会と連携し社会問題解決を目指す「彌生人(やよいびと)」を育てるための苗床として、本学は今後さらに重要な役割を担っていくこととなります。この「YAYOI プロジェクト」が、本事業に関わるひとりひとりに自身をイノベート(=常に自分自身を変え成長させていくこと)する端緒を開くことを強く祈念いたします。「YAYOI プロジェクト」で実施する「架け橋研究」「国際共同研究」「AI 研究」の3種の研究支援を通じて、広い視野から自身の研究の立ち位置を理解するための機会と、より新しいステップへ到達するための手段を、女性医師・研究者の皆様に実質的に獲得していただければと考えます。さらに育児や介護などのライフイベントを様々な角度から実践的に支援することにより、これまで以上に幅広い女性医師・研究者活躍推進を目指します。

「Your Attention to Your Own Innovation !」をスローガンに、本学ならではの「YAYOI プロジェクト」を推進して参りますので、今後の情報展開や活動報告に是非ご注目ください。

ごあいさつ



学校法人 東京女子医科大学 理事長
岩本 絹子

令和 3(2021)年度に採択されました文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」の『令和 3 年度 報告書』が完成いたしました。

この度、文部科学省による令和 3 年度科学技術人材育成費補助事業 「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」の補助金交付事業として、本学の女性医療人キャリア形成センターによる『グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用「YAYOI プロジェクト」』が採択され、女性医療人キャリア形成センター長である肥塚常務理事はじめ関係各位の皆様方のご尽力により、令和 3(2021)年 12 月 4 日に、「YAYOI プロジェクト」のキックオフミーティングが開催されました。

本学は、平成 28(2016)年から、文部科学省における女性研究者関連施策において、「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」に採択されており、その成果をご評価いただいたことで、今回の「先端型」での採択に繋がっております。従前よりも更に高い目標を掲げ、女性研究者の海外派遣等を通じた上位職登用のより一層の推進を踏まえた、先端的な取り組みが望まれております。本学の建学の精神「医学の蘊奥(うんおう)を究め兼ねて人格を陶冶し社会に貢献する女性医人を育成する」と、本学の理念である「至誠と愛」を実践し、広く国際社会でリーダーシップを発揮し、社会貢献に尽力することができ、そして、後進の育成を通じて、本学の理念「至誠と愛」を次世代に継承できる女性指導者「彌生人(やよいびと)」を育成してまいります。そして、女性指導者育成の基盤作りを、オール女子医大で構築することを期待しております。

本学は、令和 2(2020)年 12 月 5 日に創立 120 周年を迎えており、そして、令和 3(2021)年 3 月 10 日は、吉岡彌生先生の生誕 150 周年という記念すべき年となっております。この「YAYOI プロジェクト」の始動を機に、本当の意味での女性活躍の代表的役割を、本学が担っていくことを願っております。

結びになりますが、本学における本事業の成果が実り多きものとなり、女性医療人による社会貢献そして生涯を通じて活躍し続けることのできる環境が社会全体で整備されることを祈念いたします。



東京女子医科大学 学長
丸 義朗

採択させていただきました本プログラムにおける本学の課題名は、本学の創始者である吉岡彌生先生のお名前を冠した「YAYOI プロジェクト」であります。従いまして、提案した計画を忠実に実施することの他に、あらゆる点で本学の建学の精神と理念に則っているかどうか、自問自答しながら進めていかねばなりません。自立した女性医療人を保証することの一つがリーダー的存在です。卒業生調査はまだ十分とは言えませんが、多くの卒業生が社会に出て上位職で活躍していることは事実です。それを今以上に量も質も拡大するためには、大学における教授陣営に女性の持ち味が発揮されねばなりません。なぜなら本来の教授はリーダーに属するからであります。本学は教授の女性比率の30%をほぼ達成しました。これからが本当の勝負です。教授と一言で言ってもそのレベルに差があることは否めません。この30%女性教授の質的レベルの検証は、教授評価で実践していきます。また、この取り組みが、卒業生がリーダーとなれるような教育を実践する上で役に立っているかどうかを検証しなければなりません。その上で、この30%を維持するために、十分な吟味のもと、准教授や講師などの職位にも女性登用を促進します。女性教授候補となれる人材の発掘がそのミッションとなります。そして、その女性教員が力を発揮できる新しい背景の一つとして、情報技術を駆使した研究領域や活動があります。これを成功させるために、子育て支援が必須であることは言うまでもありません。保育施設などはその代表例です。本学のこの取り組みが他機関の良き手本となれるよう、協力してまいります。これにて私の挨拶とさせていただきます。



学校法人 東京女子医科大学 常務理事・名誉教授
同 女性医療人キャリア形成センター センター長
肥塚 直美

本学は令和 3(2021)年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」に採択され、「グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用『YAYOI プロジェクト』」の取り組みを開始いたしました。『YAYOI プロジェクト』の“YAYOI”は“Your Attention to Your Own Innovation”であり、本学の学祖吉岡彌生先生のお名前を冠したものです。この先端型の選定にあたりましては、平成 28(2016)年度より行ってまいりました特色型(令和 3(2021)年度が最終年度)の取り組みが自主的に行われることを前提に、さらに高い目標をもって取り組むこととされております。

初年度の取り組みは時間が限られておりましたが、本 YAYOI プロジェクトで柱となる架け橋研究、国際交流、AI 研究を中心として、理事長・学長先生の強いリーダーシップのもと、女性医療人キャリア形成センターを中心に全学をあげて精力的に取り組んできました。この初年度の取り組みの成果を報告書としてまとめることができたことを大変嬉しく思います。本年度の成果をふまえて、次年度に向けさらに邁進してまいります。

本学は、『医学の蘊奥を究め兼ねて人格を陶冶し社会に貢献する女性医人を育成する』という建学の精神と『至誠と愛』の教育理念のもと、最良の医療を実践する知識・技能を修め、高い人格を陶冶した医人を育成し、将来の医療に貢献することを目指しております。本事業をさらに推し進めて、女性医療人が生涯輝いて活躍できる社会を目指して活動してまいります。



東京女子医科大学 特任教授・名誉教授
同 女性医療人キャリア形成センター 副センター長
齋藤 加代子

令和 3(2021)年度文部科学省「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (先端型)」に採択頂き、6年間の「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (特色型)」の最終年度の活動に並行して、「先端的」取組の初年度事業を実施致しました。「上位職への積極登用」、「研究力向上・リーダー育成」、「ダイバーシティ研究環境整備」の3つの柱をより太く強固なものとする土台形成の年であったと認識しております。

「YAYOI プロジェクトキックオフミーティング」は本学創立記念日の前日 12月4日(土)に開催されました。COVID-19 パンデミックにより、残念ながら対面の開催はできず、WEB 開催・録画となりました。山村康子先生には「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブの今後の動向」の特別講演をしていただきました。そして、ダイバーシティ環境整備事業推進室室長 本多祥子准教授の「グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用：YAYOI プロジェクト」講演による本事業紹介を皮切りとして、今年度の本事業を開始しました。

初年度事業として、先端型の特徴、すなわち3つの先端的取組「架け橋研究」「バーチャル研究交流・国際交流」「AI 研究インターンシップ制度」を開始しました。それぞれの研究費として「架け橋研究支援」「国際共同研究支援」「AI 研究スタートアップ支援」の募集を行い、多くの応募を頂きました。厳正な書類審査と WEB 面接により、「架け橋研究支援」は4名、「国際共同研究支援」3名、「AI 研究スタートアップ支援」3名が採択されました。初年度は短い期間で研究成果を挙げることが求められておりますが、採択の課題は皆、その期待に応じておられ、本学における女性研究者の底力を感じるところです。

育児・介護等のセーフティネットの充実、研究環境整備を行い、「至誠と愛」の理念の下に国際的に活躍し、リーダーシップを発揮する女性を育成する本プロジェクトの成功は、まさに本学の建学の精神「医学の蘊奥を究め兼ねて人格を陶冶し社会に貢献する女性医人を育成する」の具現・実践であります。「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (先端型)」を通して、本学の多様な人材が最大限の能力を発揮することを願っております。

目次

はじめに	1
ごあいさつ	2
I 事業概要	7
目標	7
本事業のための体制整備	8
実施概要	9
事業計画	12
取組概要（ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ 女性研究者研究活動支援事業 HP 掲載）	18
令和3年(2021)年度活動年表	19
「YAYOI プロジェクト」キックオフミーティングの実施	21
● 「YAYOI プロジェクト」キックオフミーティングプログラム	22
● 事業紹介スライド（本多祥子室長）	23
II 事業報告① - 上位職への積極登用 -	32
女性教授割合の拡大状況	32
女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進	32
学長指名推薦による女性教授登用	33
オープンイノベーション講演会・交流会の実施	33
● 上位職への積極登用の取組 リーフレット	35
III 事業報告② - 研究力向上とリーダー育成 -	36
本学の研究力向上状況	36
基礎医学と臨床工学を繋ぐ架け橋研究の支援	37
バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化	39
保健医療分野における AI 研究インターンシップ制度の構築	42
● 研究力向上とリーダー育成の取組 リーフレット	44
IV 事業報告③ - ダイバーシティ研究環境整備 -	46
本学の研究環境整備状況	46
学会参加時の託児費補助制度の新設および休日一時預かり保育制度の整備	46
実践的介護支援体制の構築	48
研究支援員制度における対象者範囲の拡大	49
● ダイバーシティ研究環境整備 リーフレット	50
育児・介護に関するアンケート調査結果（抜粋）	52
V その他の取組	61
グッズの作成	61
お問い合わせ先一覧	62

I 事業概要

目標

本学は、明治33(1900)年に女性医療人(医師・看護師)育成と自立の精神に基づき設立された国内唯一の女子医科大学として、これまで様々な取組を行ってきました。平成18(2006)年度には文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成事業」に採択され、病児保育と短時間勤務制度の創設によって優れた女性研究者の研究継続支援を実施しました。事業終了後も、男女共同参画推進局(現在の女性医療人キャリア形成センター)を設置し、院内保育所に加え本学独自のファミリーサポートシステムによるきめ細やかな育児支援、また短時間勤務制度を育児期のみならず自己研鑽にも活用できる制度として創設し勤務環境改善に努めてまいりました。しかしその一方で平成27(2015)年時点の本学女性教授比率は124名中25名(20%)と少なく、キャリアを積んだ女性研究者が上位職で十分に活躍できる大学となるためには、さらに全学的な支援体制と強力な取組が必須と考えられました。そこで平成28(2016)年「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」に採択され、女性医療人キャリア形成センターに新設したダイバーシティ環境整備事業推進室が中心となり、女性教授比率を30%に引き上げるための女性上位職登用支援、女性研究者のための研究環境整備、女性教職員数の多い部署での勤務環境改善を実施し、令和2(2020)年7月には特命担当教授(将来の教授候補者)を含めた女性教授率31.1%を達成いたしました。

そしてこの度、令和3(2021)年度「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」に採択され、グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用『YAYOIプロジェクト』を発足いたしました。6年間実施してきた「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」のフレームに、先端的取組を追加し、以下を達成することを本事業の目標といたします。

- ・女性在职比率：教授30%、准教授35%、講師40%
- ・新規採用、昇進・昇格において、後進女性研究者の指導能力や国際活躍業績等を入れる
- ・女性研究者の科研費等競争的研究資金の申請数増加、新規採択率の向上をめざす
- ・介護支援の充実をはかる

わが国唯一の女子医科大学として女性が活躍できる環境を整え、優れた研究業績を有する女性医療人に対し発展的な研究継続を支援し、グローバルヘルスリーダーへの強いモチベーションを持つ女性人材(「彌生人(やよいびと)」と呼称)を育成することで、医学研究・医療への貢献を実現するとともに、将来有望な女性医療人の上位職登用のチャンスを加速させ、女性医療人がより高い望みを実現すべく研究活動やキャリア形成に邁進できる体制づくりを本学全体で推進して参ります。



Your Attention to Your Own Innovation!

学祖 吉岡彌生(やよい)先生

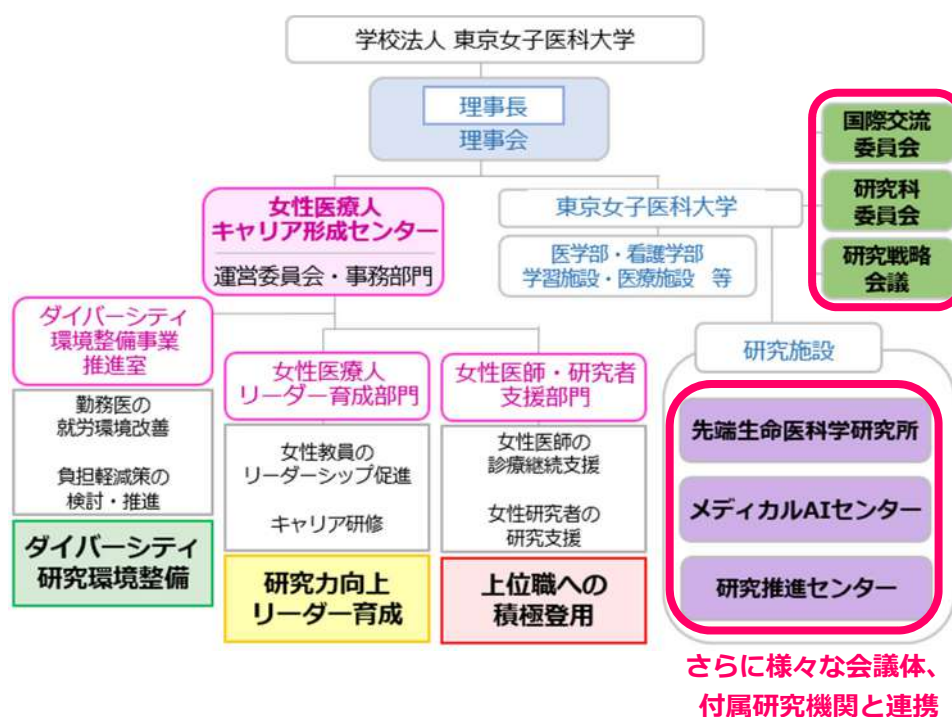


本事業のための体制整備

理事長・学長のリーダーシップのもと、事業の司令塔を「ダイバーシティ環境整備事業推進室」が担います。事業内容の具体的審議を「ダイバーシティ担当推進者会議」で行い、重要事項は女性医療人キャリア形成センターを通じ理事会で審議決定を行います。

女性医療人キャリア形成センターには、既に女性活躍推進法による行動計画の実施のために設置されている部門が複数あり、本事業の推進に際しては、それらのうち「女性医療人リーダー育成部門」ならびに「女性医師・研究者支援部門」と「看護職キャリア開発支援部門」が「ダイバーシティ環境整備事業推進室」と連携しつつ各部署が専門とする事業内容の推進を担当します。

「ダイバーシティ環境整備事業推進室」は毎月の「ダイバーシティ担当推進者会議」により女性医療人キャリア形成センター内の複数の部門、学内委員会、学内研究施設と密に連携し、事業全体をオーガナイズすると共に各部署の活動を（事務、広報、記録、成果の抽出など）多方面からバックアップすることで事業の確実な進捗を図ります。



実施概要

上位職への女性の積極登用 (=1)、そのための研究力向上とリーダー育成 (=2)、およびこれらを支えるダイバーシティ研究環境整備 (=3) の3つのテーマについて、6年間実施してきた「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」のフレームに更なる先端的取組を追加し、それぞれ事業主行動計画、ストラクチャー、プロセス、アウトカムを明確に設定しました(下図参照)。



(1) 上位職への積極登用の取組

①女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進：32 ページ

- ・次世代の女性教授候補者層(准教授、講師)の裾野を広げるため、医師以外の学内女性研究者を対象としたキャリアアップのための実践的な個別アドバイス体制の整備
- ・助教や研修医に対し、准教授や講師をロールモデルとした「ピアラーニング(※)」の積極展開
※教授を中心としたロールモデルから直接経験談を聞き意見交換を行う場

②学長指名推薦による女性教授登用：33 ページ

- ・学内外の優れた実績をもつ女性教職員を学長指名推薦により女性教授として登用

③オープンイノベーション講演会・交流会：33 ページ

- ・本学先端生命医科学研究所「バイオメディカル・カリキュラム」と連携し、医・工・理の架け橋研究等を紹介する「オープンイノベーション講演会」、新たな研究希望者と既に研究進行中の者とのマッチングの場「オープンイノベーション交流会」の企画・開催

(2) 研究力向上・リーダー育成の取組

①基礎医学と臨床工学を繋ぐ架け橋研究支援：37 ページ

- ・「架け橋研究支援金」制度の実施
- ・架け橋研究を推進する「架け橋研究指導者」の任命、ならびに各種相談に対応するための体制準備
- ・研究希望者と研究進行中の者が意見交換する「架け橋研究紹介ツアー」の企画・開催

②バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化：39 ページ

- ・国際共同研究を既に進行中の学内女性研究者を対象とした「国際共同研究支援金」制度の実施
- ・国際共同研究を推進する「国際共同研究指導者」の任命、ならびに各種相談に対応するための体制準備
- ・国際共同研究を既に進行中の学内女性研究者（国際共同研究支援金を受けた女性研究者も含む）を対象とした英語論文掲載料一部補助制度の実施
- ・国際共同研究用デジタルプラットフォームの構築
- ・アバターロボットを使用するためのデジタル環境構築

③保健医療分野における AI 研究インターンシップ制度の構築：42 ページ

- ・新たな AI 研究開始を希望する学内女性研究者を対象とした「AI 研究スタートアップ支援」制度の実施
- ・AI 研究を推進する「AI 研究指導者」の任命、ならびに各種相談に対応するための体制準備
- ・保健医療分野における AI 研究を活性化するプロジェクトとして AI インターンシップ制度の構築
- ・AI 講習会、研修会 参加費補助制度の実施

(3) ダイバーシティ研究環境整備の取組

①学会参加時の託児費補助制度の新設および休日一時預かり保育制度の整備：46 ページ

- ・本学全教職員を対象とした学会等参加時の託児費補助に関するニーズ調査の実施
- ・学会等参加時の託児費補助制度の実施
- ・院内保育所（学校法人東京女子医科大学付属病院院内保育所）における土日祝日を含めた一時預かりの安全性検証および利用者数のモニタリングの実施

②実践的介護支援体制の構築：48 ページ

- ・本学教職員の介護現状とニーズの把握を目的とした全教職員アンケートの実施
- ・本学ファミリーサポート体制を構築している NPO 法人子育てネットワーク・ピッコロと連携した、新たな介護見守り支援（ちょこっと介護見守り支援）の新設準備

③研究支援員制度における対象者範囲の拡大：49 ページ

- ・平成 28(2016)年度（特色型）事業で構築した女性研究者対象の「研究支援員制度(※)」への育児中/介護中男性研究者 1 名支援枠新設

※応募条件を満たす本学医学部の女性医学研究者が、研究活動上必要な補助業務を行う際に「研究支援員」を 1 名採用できる制度(支援員の人件費は女性医療人キャリア形成センターより拠出)

以上のダイバーシティ研究環境整備事業の様々な取組は、女性医師・研究者のみならず全教職員・学生も対象としています。今後もさらに個別の状況に合わせた多角的かつ適切な支援を実施し、広く社会に役立つモデルを構築していきます。

事業計画

調書 2

(別紙)

事業計画書

I. 補助事業の内容

1. 補助事業の名称

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）

2. 機関名

学校法人 東京女子医科大学

3. 補助事業の目的

①上位職登用（女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進、学長指名推薦による女性教授登用、オープンイノベーション講演会・交流会）、②研究力向上・リーダー育成（基礎医学と臨床工学を繋ぐ架け橋研究支援、バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化、保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築）、③ダイバーシティ研究環境整備（実践的介護援助体制の構築、研究支援員制度における対象者範囲の拡大）を通じて、以下を達成することを本事業の目的とする。

- a. 女性在职比率：教授 30%、准教授 35%、講師 40%
- b. 新規採用、昇進・昇格において、後進女性研究者の指導能力や国際活躍業績等を入れる
- c. 女性研究者の科研費等競争的研究資金の申請数増加、新規採択率の向上をめざす
- d. 介護支援の充実をはかる

4. 本年度の事業の項目及び内容

○取組期間における研究者在职者数、女性在职比率

	助教以下 (うち女性)	講師 (うち女性)	准教授 (うち女性)	教授 (うち女性)	女性在职 比率
令和2年5月 1日(実績)	1,735(826)	164(64)	120(30)	133(38)	45%
令和3年度	1,697(815)	152(60)	123(30)	128(37)	45%
令和4年度	1,746(838)	154(60)	120(30)	130(38)	45%
令和5年度	1,738(844)	162(63)	120(32)	130(39)	45%
令和6年度	1,737(844)	161(63)	120(32)	132(39)	45%
令和7年度	1,737(844)	161(63)	120(32)	132(39)	45%
令和8年度	1,735(826)	164(66)	124(43)	132(40)	45%

○取組期間における研究者採用者数、女性採用比率

	助教以下 (うち女性)	講師 (うち女性)	准教授 (うち女性)	教授 (うち女性)	女性採用 比率
令和2年5月 1日(実績)	184(86)	8(6)	8(1)	6(2)	46.1%
令和3年度	188(90)	8(6)	8(1)	6(2)	46%
令和4年度	204(97)	8(6)	8(1)	6(2)	46%
令和5年度	204(101)	8(6)	8(1)	6(2)	54%
令和6年度	204(101)	8(6)	8(1)	6(2)	54%
令和7年度	204(101)	8(6)	8(1)	6(2)	54%
令和8年度	204(101)	8(6)	8(1)	6(2)	54%

(1) 本事業推進のための体制整備

- ・「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」事業を円滑に進めるために、各施策推進の司令塔としての役割を担っている「ダイバーシティ環境整備事業推進室」が引き続きその任を担う。本事業の各取組についての具体的審議は「ダイバーシティ担当推進者会議」で行う。「ダイバーシティ担当推進者会議」で採択された重要事項については女性医療人キャリア形成センターを通じ、理事会での審議決定を必要とする。

女性医療人キャリア形成センターには、既に女性活躍推進法による行動計画の実施のために設置されている部門が複数あり、本事業の推進に際しては、それらのうち「女性医療人リーダー育成部門」ならびに「女性医師・研究者支援部門」と「看護職キャリア開発支援部門」が「ダイバーシティ環境整備事業推進室」と連携しつつ各部署が専門とする事業内容の推進を担当する。「ダイバーシティ環境整備事業推進室」は毎月の「ダイバーシティ担当推進者会議」により女性医療人キャリア形成センター内の複数の部門、学内委員会、学内研究施設と密に連携し、事業全体をオーガナイズすると共に各部署の活動を(事務、広報、記録、成果の抽出など)多方面からバックアップすることで事業の確実な進捗を図る。

- ・会議専用のタブレット端末を導入し各事業担当者に貸与することで、会議中の資料供覧をペーパーレス化し機密情報を管理しつつスムーズな情報共有を行う。またオンライン会議や進捗管理の視覚化、配信予定の学内女性研究者の研究紹介動画のチェック等に活用する。
- ・会議や交流会(架け橋研究ツアーやオープンイノベーション交流会も含む)、講演会、報告会、インタビュー等専用にカメラ、マイクシステム等の機材を導入し、配信のための音響・画像の質を向上させる。

(2) 女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進(上位職登用)

- ・次世代の女性教授候補者層(准教授、講師)を厚くし裾野を広げるため、医師以外の学内女性研究者を対象としたキャリアアップのための実践的な個別アドバイス体制を整備する(登録

制)。体制整備のための実施要項を作成し、医師以外の女性研究者の登録希望者募集とアドバイザー（学内・学外）の募集・選定および登録について検討する。

- ・教授を中心としたロールモデルから直接経験談を聞くことができる「ピアラーニング」について、演者に准教授や講師、聴講者に助教や研修医などを加え、裾野を広げた積極的展開を検討する。実施要項を作成し、演者（准教授、講師）の募集および選定について検討する。

(3) 学長指名推薦による女性教授登用（上位職登用）

- ・国内外において優れた実績のある女性教職員（医師以外の女性研究者を含む）を教員評価制度の公平な評価結果や国際活躍業績に基づき学長指名推薦により女性教授として登用していく。女性登用実績の評価方法等も十分検討され既に体制は整っており、候補者があれば適宜推薦を実施する。

(4) オープンイノベーション講演会・交流会（上位職登用）

- ・本学の先端生命医科学研究所が主催する「バイオメディカル・カリキュラム」（以下 BMC）と連携して広く学内外の女性研究者に呼びかけ、BMC 修了者や既に架け橋研究を進行中の研究者（特に女性）が修了後の成果および成功体験について語るオンライン講演会（オープンイノベーション講演会）、交流会を開催する。講演会・交流会の募集要項を作成し、参加希望者および演者の募集・登録、メーリングリストを作成する。特に交流会については、架け橋研究の芽として重要な「研究マッチング」を目的とした双方向の情報交換の場（オンライン、リアル両方で）を準備する。カメラ、マイクシステム等の機材を導入し、配信のための音響・画像の質を向上させる。
- ・オープンイノベーション講演会で発表する女性研究者の研究活動成果等を広く学内外（海外含む）に発信するため、撮影機材を用いて動画製作できる体制を構築し、配信する。

(5) 基礎医学と臨床工学を繋ぐ架け橋研究支援（研究力向上・リーダー育成）

- ・学内女性研究者主体の研究チームもしくは学内女性研究者を含んだ研究チームを対象とし、基礎医学と臨床工学の間を繋ぐ医・工・理の架け橋研究を推進する架け橋研究指導者（学内女性研究者）の募集要項を策定、募集を開始する。
- ・「架け橋研究支援金」制度の実施要項、審査員等の体制を整備し、支援を開始する。
- ・架け橋研究開始を希望する女性研究者を増やすため、既に学内で進行中の異分野融合研究プロジェクトを多数紹介し、それらの研究プロジェクトに関わる研究者と新たに参加を希望する研究者とが相互に意見交換できる場「架け橋研究紹介ツアー」を実施（オンライン、リアル両方で）するための準備を行う。
- ・「架け橋研究」をスタートした女性研究者の研究活動内容の紹介や研究成果報告等を学内外（海外含む）に発信するための収録・動画配信の準備を行う。

(6) バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化（研究力向上・リーダー育成）

- ・海外の複数の大学との共同研究を活性化することを目的として研究用デジタルプラットフォームを構築するため、このデジタルプラットフォームを活用した国際研究講演会・交流会を企画し、準備を行う。参加希望者および演者の募集・登録、メーリングリストの作成を検討する。

- ・国際共同研究を既に進行中の学内女性研究者を対象とした「国際研究支援金」の実施要項を作成し、審査体制を構築、支給を行う。
 - ・国際共同研究を既に進行中の学内女性研究者および国際研究支援金を受けた女性研究者を対象とした英語論文掲載料一部補助制度を創設するため、実施要項を作成し、支給を行う。
 - ・新たな国際共同研究を希望する学内女性研究者、および国際研究指導者としてメンター役を担う女性研究者（学内外）を募集するための要項を作成する。さらに各種相談に対応するための体制（相談希望者募集要項、メンターとのマッチング、オンライン・リアルでの相談環境など）を準備する。
 - ・学外（海外を含む）と学内の研究者間で臨場感のある研究交流の実施を目指し、アバターロボット「ニューミー」を安定して使用可能なデジタル環境を構築するための準備を行う。
 - ・国際研究支援金を受けて国際共同研究を推進した学内女性研究者の研究活動内容の紹介、研究成果報告等を学内外（海外含む）に発信するための収録・動画配信の準備を行う。
- (7) 保健医療分野における AI 研究インターンシップ制度の構築（研究力向上・リーダー育成）
- ・保健医療分野における AI 研究を活性化するプロジェクトとして、希望者（新たな AI 研究開始を希望する女性研究者、AI 研究に興味を持つ大学院生や学生を含む）が AI 医療研究実践に必要な基本知識を効率良く学べる AI インターンシップ制度を構築、登録希望者を募集しメーリングリスト（AI 研究メーリングリスト）を作成する。本学のメディカル AI センター（以下、MAC）ではすでにスタージェン社への委託により定期的に MAC 主催 AI 講習会、AI 演習会を開催することで AI 教育を実施しており、AI 研究メーリングリストを用いてこれらへの参加登録を案内する。また、学外の AI 講習会、研修会についても情報収集し、AI 研究メーリングリストを用いて参加案内を配信する。学内女性研究者については、申請により AI 講習会、研修会参加費を支援する。
 - ・MAC 内の AI 研究指導者に付いて新たな AI 研究開始を希望する学内女性研究者（医師、看護師含む）を対象とした「AI 研究スタートアップ支援」制度開始に向け実施要項を作成、審査体制を構築し、研究費を支援する。
 - ・令和 4 年度からの本格的な AI 研究支援にむけ、研究環境整備の一環として、学内女性研究者が AI 研究に活用するための共用パソコン（外付け HDD 含む）一式を準備する。
 - ・AI 研究スタートアップ支援金を受けて研究を推進した学内女性研究者の研究活動内容の紹介、研究成果報告等を学内外（海外含む）に発信するための収録・動画配信の準備を行う。
- (8) 学会参加時の託児費補助制度の新設および休日一時預かり保育制度の整備（ダイバーシティ研究環境整備）
- ・男女問わず本学全教職員を対象とし、学会等参加時の託児費補助に関するニーズ調査を実施する。その上で、学会等参加時の託児費補助制度の創設に向けて実施要項を作成する。要項ができ次第、支給を開始する。

- ・院内保育所（学校法人東京女子医科大学付属病院院内保育所）における土日祝日を含めた一次預かりを安全に実施していることの検証および利用者数のモニタリングを、タブレット端末と専用ソフト（ルクミー）を用いて行う。また、適宜利用者アンケートを実施して具体的なニーズを把握する。

(9) 実践的介護支援体制の構築（ダイバーシティ研究環境整備）

- ・実践的介護支援体制構築のため、本学教職員の介護現状とニーズの把握を目的に3度目の全教職員アンケートを実施する。

- ・「女子医大・東京医大ファミリーサポート」を委託している特定非営利活動法人子育てネットワーク・ピッコロ（「女子医大・東京医大ファミリーサポート」）のノウハウを活用し、現在ピッコロに登録している子育てサービス提供会員を対象として、新たな介護見守り支援サービス（ちょこっと介護見守り支援）提供会員の募集を行う。さらに、介護見守り支援サービス提供会員のための講習会プログラム内容および具体的な支援内容の検討を行う。

(10) 研究支援員制度における対象者範囲の拡大（ダイバーシティ研究環境整備）

- ・育児中または介護中の女性研究者および優れた研究業績を有する将来有望な女性研究者を対象に実施している研究支援員制度をさらに拡大し、育児中または介護中の男性研究者1名の支援枠を創設する。この支援枠創設にあたっての募集・審査方法の検討、承認を行い、さらに男性研究者募集枠の周知と募集準備を行う。
- ・研究支援員制度を受けて研究を推進した学内研究者の研究活動内容の紹介、研究成果報告等を学内外（海外含む）に発信するための収録・動画配信の準備を行う。

5. 補助事業期間

- ・補助事業の完了（予定）日 令和4年3月31日

II. 補助事業の実施体制

※「I. 4. 本年度の事業の項目及び内容」と対応。

事業項目	実施場所	担当責任者
(1) 本事業推進のための体制整備	東京都新宿区河田町 8-1 学校法人 東京女子医科大学	解剖学講座神経分子形態学分野 准教授 本多 祥子
(2) 女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進（上位職登用）	東京都新宿区河田町 8-1 学校法人 東京女子医科大学	常務理事・女性医療人キャリア形成センター長 肥塚 直美
(3) 学長指名推薦による女性教授登用（上位職登用）	東京都新宿区河田町 8-1 学校法人 東京女子医科大学	常務理事・女性医療人キャリア形成センター長 肥塚 直美
(4) オープンイノベーション講演会・交流会（上位職登用）	東京都新宿区河田町 8-1 学校法人 東京女子医科大学	先端生命医科学研究所 所長・教授 清水 達也
(5) 基礎医学と臨床工学を繋ぐ架け橋研究支援（研究力向上・リーダー育成）	東京都新宿区河田町 8-1 学校法人 東京女子医科大学	先端生命医科学研究所 所長・教授 清水 達也
(6) パーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化（研究力向上・リーダー育成）	東京都新宿区河田町 8-1 学校法人 東京女子医科大学	国際環境・熱帯医学講座 国際環境・熱帯医学分野 教授・基幹分野長 杉下 智彦
(7) 保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築（研究力向上・リーダー育成）	東京都新宿区河田町 8-1 学校法人 東京女子医科大学	先端生命医科学研究所 副所長・教授 村垣 善浩
(8) 学会参加時の託児費補助制度の新設および休日一時預かり保育制度の整備（ダイバーシティ研究環境整備）	東京都新宿区河田町 8-1 学校法人 東京女子医科大学	衛生学公衆衛生学講座 公衆衛生学分野 教授・基幹分野長 野原 理子
(9) 実践的介護支援体制の構築（ダイバーシティ研究環境整備）	東京都新宿区河田町 8-1 学校法人 東京女子医科大学	解剖学講座神経分子形態学分野 准教授 本多 祥子
(10) 研究支援員制度における対象者範囲の拡大（ダイバーシティ研究環境整備）	東京都新宿区河田町 8-1 学校法人 東京女子医科大学	臨床検査科 教授 佐藤 麻子

取組概要 (ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ 女性研究者研究活動支援事業 HP 掲載)

東京女子医科大学 (先端型)

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ
実施期間：R3年～R8年

【特長】 Your Attention to Your Own Innovation !
 グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用「YAYOIプロジェクト」

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)のフレームに更なる先端的取組を追加し、優れた女性研究者の育成と女性活躍を促進させるYAYOIプロジェクトを全学体制で推進する。

学祖 吉岡彌生(やよい)先生

【実施体制】

理事長・学長のリーダーシップのもと、事業の司令塔を「ダイバーシティ環境整備事業推進室」が担い、事業内容の具体的審議を「ダイバーシティ担当推進会議」で行い、重要事項は女性医療人キャリア形成センターを通じ理事会で審議決定を行う。「ダイバーシティ環境整備事業推進室」が女性医療人キャリア形成センターの各部門、学内委員会、研究施設と密に連携し各事業の確実な進捗を図る。

さらに様々な会議体、付属研究機関と連携

【取組概要(目標)】

1. 上位職登用：学長のリーダーシップの元、**学長指名推薦による准教授・講師の昇進昇格、採用を促進**、優れた女性研究者を発掘する。
2. 研究力向上とリーダー育成：**オンライン国際研究交流体制を構築し、女性研究者の国際共同研究支援**を行う。異分野を繋ぐ**架け橋研究支援、AIインターンシップ制度、AI研究スタートアップ支援**により女性研究者の研究夢を促進する。
3. ダイバーシティ研究環境整備：オンラインを含む学会等参加時の**託児費補助制度、実践的介護支援を新設**する。**研究支援員制度の利用対象者を育児・介護中の男性研究者に拡大**する。

テーマ	上位職への積極登用	研究力向上 リーダー育成	ダイバーシティ 研究環境整備
アウトカム	教授 30% 准教授 35% 講師 40%	科研費等応募数 30%増 科研費等採択数 20%増 原著論文等 10%増	研究者の満足度向上 介護支援制度の利用 研究者の働き方改革
事業主行動計画	目標1 女性教授比率30%達成,維持		
中長期ビジョン	目標2 介護支援制度利用者比率0.6%		

女性が活躍できる環境を整え、本学の理念「至誠と愛」の下に国際的に活躍し、リーダーシップを発揮できる女性を育成する

【支援内容】研究力向上とリーダー育成の取り組みとして女性研究者を支援します

上位職への積極登用

- ①女性准教授・講師 新規採用、昇進昇格
- ②学長指名推薦による女性教授登用
- ③オープンイノベーション 講演会・交流会

研究力向上
リーダー育成

- ①架け橋研究支援
- ②バーチャル研究交流、国際交流実施
- ③AI研究 インターンシップ制度

ダイバーシティ
研究環境整備

- ①託児費用補助制度 休日・病児保育利用者数 モニタリング
- ②介護支援の実践的援助
- ③研究支援員制度の拡大 (育児・介護中男性研究者?)

◆研究支援
①架け橋研究支援
基礎医学と臨床工学の間を繋ぐ架け橋研究に関わる、もしくは新たにスタートを希望する女性研究者を支援
②国際共同研究支援
国際共同研究に関わる、もしくは新たにスタートを希望する女性研究者を支援
③AI研究スタートアップ支援
保健医療分野でのAI研究を新たにスタートする女性研究者を支援

◆補助制度
①学会等参加時の託児費補助
②国際共同研究における英語論文掲載料補助
③AI講習会、研修会参加費補助

◆ダイバーシティ研究環境整備
①院内保育所の休日一時預かり保育の整備
②ファミリーサポート体制を活用した“ちょこっと介護見守り支援”
③男性研究者のための研究支援員制度利用枠新設

◆国際共同研究を活性化
海外の複数の大学と共用できる
研究用デジタルプラットフォームを構築

【これまでの成果】

2016年 文部科学省 (JST) ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型) 採択

特色型による取組により、女性教授比率が上昇
2020年7月に目標である30%を達成
<受賞歴>
2017年 東京都女性活躍推進大賞
2020年 日産財団 第3回リカジョ奨励賞

年度	女性割合	女性	男性	合計
2015.5	20.7%	25	96	121
2016.5	22.2%	26	91	117
2017.5	18.9%	23	99	122
2018.5	24.2%	31	97	128
2019.11	29.4%	42	101	143
2020.07	31.1%	42	93	135
2021.03	30.1%	41	95	136

【お問い合わせ】

機関名：学校法人東京女子医科大学
 所在地：東京都新宿区河田町8-1
 連絡先：03-3353-8112
 (内線30165,30166)
 cdc_bm@twmu.ac.jp
 HP：http://www.twmu.ac.jp/gender/
女性医療人キャリア形成センター

18

令和3年(2021)年度活動年表

実施日	内容
令和3(2021)年度	
6/16	科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」申請書提出
8/23	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）面接審査（オンライン）
10/14	介護支援について委託先（NPO法人子育てネットワーク・ピッコロ）と打ち合わせ
10/20	AI研究講演会・演習会について委託会社（株）スタージェン）と打ち合わせ
10/27	オープンイノベーション講演会、交流会に関する打ち合わせ
11/4	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）補助金交付決定
11/8	研究支援制度（架け橋研究支援・国際共同研究支援・AI研究スタートアップ研究支援）公募開始
11/15	学会参加時等の託児費補助制度 受付開始
11/24	アバターロボットの実証実験を実施（ブラウン大学）
11/25	第1回ダイバーシティ担当推進者会議開催（オンライン）
	アバターロボットの実証実験を実施（アラバマ大学）
	英語論文掲載料補助制度・AI講習会、研修会 参加費補助制度 受付開始
12/1-12/3	研究支援制度 書類審査
12/4	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）「YAYOIプロジェクト」キックオフミーティング開催
12/6	研究支援制度 面接審査
12/10	研究支援制度 採択者決定（架け橋研究支援4名・国際共同研究支援3名・AI研究スタートアップ研究支援3名）
12/14	アバターロボット 今後の活動について委託会社（株）NTTドコモ）と意見交換
12/15-1/5	育児・介護に関するアンケート調査実施
12/17	アバターロボット 今後の活動について学内会議
12/21	第2回ダイバーシティ担当推進者会議開催（オンライン）
	AI研究講演会・演習会について委託会社（株）スタージェン）と打ち合わせ
12/24	研究支援制度 授与式
12/28	研究支援制度 授与式
1/24	オープンイノベーション講演会開催（オンライン/参加50名）
1/25	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）HP公開
1/26	「YAYOIプロジェクト」キックオフミーティング動画公開
1/27	アバターロボット temiを使用したシンガポール国立大学 国際共同研究者による本学ラボ視察
1/28	第3回ダイバーシティ担当推進者会議開催（オンライン）
	「ちょこっと介護見守り支援」提供会員向け介護事業説明会

実施日	内容
令和3(2021)年度	
2/7	第1回医療・ヘルスケア AI 講演会開催 (オンライン/参加 98 名)
2/8	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (先端型) JST 訪問調査 (オンライン)
2/11	デジタルプラットフォーム MPUF XRCC を使用したハーバード大学との研究ミーティング実施
2/14	第1回アノテーション演習会 (オンライン/参加 4 名)
2/18	第4回ダイバーシティ担当推進者会議開催 (オンライン)
	「ちょこっと介護見守り支援」提供会員向け介護講習会
2/25	「ちょこっと介護見守り支援」提供会員向け介護実習
3/23	第5回ダイバーシティ担当推進者会議開催 (オンライン)
3/31	令和3(2021)年度「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (先端型)」活動報告書発行

「YAYOI プロジェクト」キックオフミーティングの実施

令和3(2021)年12月4日(土)、本学において「YAYOI プロジェクト」キックオフミーティングを開催いたしました。本学の大学ニュースに以下の記事が掲載されました。

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)「YAYOI プロジェクト」キックオフミーティング開催報告

女性医療人キャリア形成センター
ダイバーシティ環境整備事業推進室 室長 本多祥子

文部科学省令和3年度科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)の選定を受け、12月4日(土)キックオフミーティング収録が女性医療人キャリア形成センター副センター長 齋藤加代子特任教授の司会進行のもと行われました。

文部科学省の女性研究者支援に関連した施策のひとつに2015(平成27)年から始まったダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業があり、本学は2016(平成28)年の「特色型」に続き、令和3年度「先端型」の選定を受けることができました。この「先端型」は、より高い目標を掲げ女性研究者の海外活躍推進などを含めた先端的な取組を行い、さらなる女性上位職登用を進めていく機関が選定されるものです。

本学における「先端型」の事業名は、「グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用『YAYOIプロジェクト』」といたしました。自分自身のイノベーションに目を向けよう、という意味の「Your Attention to Your Own Innovation!」を、本学の学祖 吉岡彌生先生のお名前にかけたものです。この「YAYOIプロジェクト」では、これまで「特色型」で実施してきた枠組み(①上位職登用、②研究力向上とリーダー育成、③ダイバーシティ研究環境整備)にさらなる先端的取組を追加し、グローバルヘルスリーダー(人類の抱える様々な課題に、国際社会と協力しリーダーシップをとって立ち向かえる人物)となりうる優れた女性医療人の育成と女性活躍の発展を全学体制で推進してまいります。



キックオフミーティングの冒頭、若本総子理事長からは「広く国際社会でリーダーシップを発揮し、社会貢献に尽力することができる後進の育成を通じて、本学の理念「至誠と愛」を次世代に継承できる女性指導者「彌生人(やよいびと)」を育てる基盤をオール女子医大で構築し、本事業の始動を機に、女性活躍の代表的役割を本学が担っていくことを願っている」とのお言葉をいただきました。続いて丸 義朗学長が「提案した計画を忠実に実施することの他に、あらゆる点で本学の建学の精神と理念に則っているか、自問自答しながら進めていかなければなりません」と本事業に邁進する決意を語られました。

特別講演は、肥塚直美常務理事・女性医療人キャリア形成センター長の座長のもと、山村康子先生(国立研究開発法人科学技術振興機構 プログラム主管(PO))に、「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブの今後の動向」と題してご講演いただき、女性の活躍推進に向けた法律(施行年)の変遷、女性研究者の育成を図る文部科学省の事業ならびに事業実施機関における取組好事例をご紹介いただきました。引き続きダイバーシティ環境整備事業推進室室長 本多祥子より、「YAYOIプロジェクト」の全体像の紹介、および特色ある取組について具体的に説明いたしました。女性上位職の基盤となる准教授・講師の育成、新たな育児・介護支援策の導入など、女性医療人の活躍を実質的に支援するためのさまざまな内容が含まれております。3つの研究領域(架け橋研究=基礎医学と臨床工学を繋ぐ異分野融合研究、国際共同研究、保健医療分野におけるAI研究)における各種研究支援については、それぞれ「異分野融合研究の推進と『架け橋研究支援』への期待」と題して先端生命医学研究所所長 清水達也教授より、「クロスリアリティを応用した21世紀型の国際交流への期待」と題して国際交流委員会室長 国際環境・熱帯医学講座 杉下智彦教授より、「保健医療分野でのAI活用と『AI研究スタートアップ支援』への期待」と題して先端生命医学研究所メディカルAIセンター 村垣善浩教授よりご講演いただきました。

最後に石黒直子医学部長より閉会のご挨拶をいただき、先端型のさまざまな事業にかける期待を益々高めつつキックオフミーティングを終了いたしました。全教職員の皆様にご視聴いただけるよう準備が整いましたら改めてご案内いたしますので、ぜひご覧ください。



今後は何よりも女性研究者自らがキャリア形成の基盤を作り、経済的に自立できるための苗床を育むことが大切です。わが国唯一の女子医科大学として、女性が活躍できる環境を整え、優れた研究業績を有する女性医療人への支援を行い、グローバルヘルスリーダー育成とさらなる女性登用を目指して、これからも一層、活動を推進してまいります。

男性女性に関わらず、本事業への皆様の積極的なご参画を心よりお待ちしております。

- 「YAYOI プロジェクト」キックオフミーティングプログラム

Your Attention to Your Own Innovation !

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)

「YAYOI プロジェクト」キックオフミーティング

日 時: 2021年12月4日(土)当日収録、後日オンライン配信

収録場所: 彌生記念教育棟 104 会議室

開 始: 14:00~15:30

総合司会: 齋藤 加代子

[女性医療人キャリア形成センター副センター長、ゲノム診療科特任教授]

【挨拶】

岩本 絹子 理事長

丸 義朗 学長

【開会の挨拶】

肥塚 直美 [常務理事、女性医療人キャリア形成センター長]

【特別講演】 座長: 肥塚 直美

演 者: 山村 康子 先生 [国立研究開発法人科学技術振興機構 プログラム主管(PO)]

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブの今後の動向

【ダイバーシティ(先端型) 事業紹介】 座長: 本多 祥子

演 者: 本多祥子 [ダイバーシティ環境整備事業推進室長、解剖学講座(神経分子形態学分野)准教授]

グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用「YAYOI プロジェクト」

演 者: 清水 達也 [先端生命医科学研究所 所長・教授]

異分野融合研究の推進と「架け橋研究支援」への期待

演 者: 杉下 智彦 [国際交流委員会 委員長、国際環境・熱帯医学 教授・基幹分野長]

クロスリアリティを応用した 21 世紀型の国際交流への期待

演 者: 村垣 善浩 [先端生命医科学研究所 教授]

保健医療分野での AI 活用と「AI 研究スタートアップ支援」への期待

【閉会の挨拶】

石黒 直子 医学部長 [女性医師再研修部門部門長、皮膚科学講座皮膚科学分野教授・基幹分野長]



令和3年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」

● 事業紹介スライド (本多祥子室長)

2021/12/4



R3年度ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (先端型) キックオフミーティング

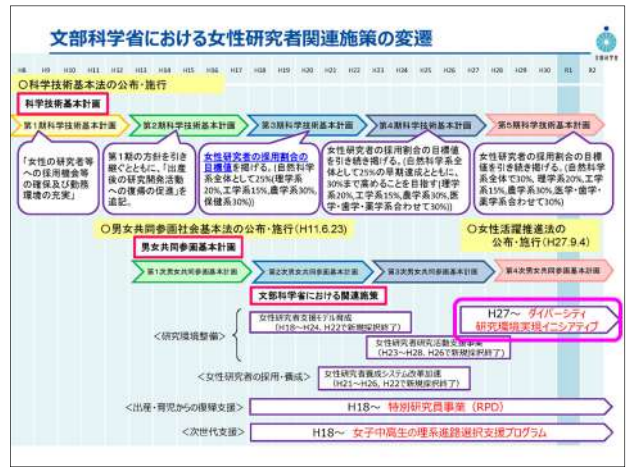
グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用 「YAYOI プロジェクト」

Your Attention to Your Own Innovation!



大学の学組
高岡彌生 先生

学校法人 東京女子医科大学
女性医療人キャリア形成センター
ダイバーシティ環境整備事業推進室
室長 本多祥子
解剖学 (神経分子形態学分野)



ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ

令和3年度予算額 1,026億円 (前年度実績) 1,014億円

○ 対象機関: 大学、大学共同利用機関法人、独立行政法人 (単一の機関による取組)

○ 支援取組: 従前よりも更に高い目標を掲げ、女性研究者の海外派遣等を通じた上位職登用の一層の推進や、女性研究者の活躍促進を踏まえたより広いダイバーシティ研究環境の形成を図る先端的な取組

○ 選定件数: 1件程度

○ 補助金額: 2~5千万円/年 (上限)

○ 実施期間: 6年間 (うち補助期間3年間)

※ 各機関の自主的運営の確立に向けて、補助期間終了後も自己資金での運営が前提

事業の概要 (先端型) ① (公募要領 P.11-14)

先端型

○ 対象機関: 大学、大学共同利用機関法人、独立行政法人 (単一の機関による取組)

○ 支援取組: 従前よりも更に高い目標を掲げ、女性研究者の海外派遣等を通じた上位職登用の一層の推進や、女性研究者の活躍促進を踏まえたより広いダイバーシティ研究環境の形成を図る先端的な取組

連携型、牽引型で実施した取組を発展させ、さらに高い目標を掲げ、より広範な機関と連携し、より多くの女性研究者の活躍を促進する取組

※ 機関としての目標・行動計画の設定・公表が必要

○ 選定件数: 1件程度

○ 補助金額: 2~5千万円/年 (上限)

○ 実施期間: 6年間 (うち補助期間3年間)

※ 各機関の自主的運営の確立に向けて、補助期間終了後も自己資金での運営が前提

令和3年度 科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ選定機関一覧

○ 「先端型」

- ・ 金沢大学
- ・ 東京女子医科大学

計 2件

○ 「特性対応型」

- ・ 広島大学
- ・ 名古屋大学

計 2件

○ 「調査分析」(() 内は共同実施機関)

- ・ 九州大学 (東京工業大学)
- ・ 同志社大学 (上智大学)

計 2件



ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (先端型)

グローバルヘルスリーダー育成と更なる女性登用 「YAYOI プロジェクト」

Your Attention to Your Own Innovation!



大学の学組
高岡彌生 先生

学校法人 東京女子医科大学
女性医療人キャリア形成センター

グローバルヘルスリーダー YAYOI プロジェクト



グローバルヘルスリーダー



取組の概要

目標 1：女性教授率30%の達成と維持

従前の目標を超えた挑戦 女性上位職登用の一層の推進

第10分野 教育・メディア等を通じた男女双方の意識改革、理解の促進

大学の教員に占める女性の割合

職階	2019年	2025年
准教授	25.1% (2019年)	27.5%(早期)、更に30%を目指す (2025年)
教授等 (学長、副学長及び教授)	17.2% (2019年)	20%(早期)、更に23%を目指す (2025年)

第5次男女共同参画基本計画（令和2年12月25日）

目標 1：女性教授率30%の達成と維持

教授（特命担当含む）の女性割合と在籍数



目標 1：女性教授率30%の達成と維持

これまでの実績	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度 (~10月)
教授 ※特任教授・特命担当教授含む (学外からの就任：監/看)	4名	5名 (0/2名)	13名 (0/3名)	6名 (2/0名)	6名 (3/0名)	2名 (0/0名)
准教授	5名	4名	7名	7名	6名	5名
講師 ※准講師・特任准講師含む	12名	11名	12名	21名	16名	7名
★本学退職者の 他大学での 教授昇格者数	-	2名	3名	2名	1名	1名

取組の概要

目標 1：女性教授率30%の達成と維持

目標 2：介護支援制度利用者比率0.6%の達成

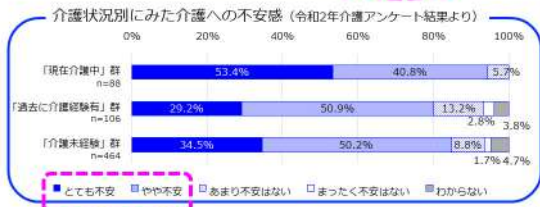
介護に関する数値目標

現状分析した上で十分な必要性

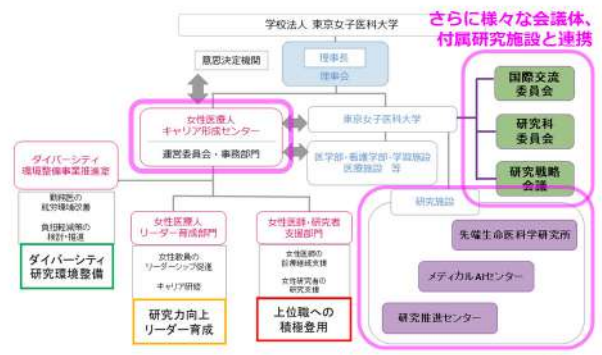
より広いダイバーシティ研究環境整備

目標2：介護支援制度利用者比率0.6%の達成

	介護休職 利用者数	介護休暇 利用者数	利用者比率
令和元年 (2019)	5人	18人	0.335% (23人/全教職員6862人)
令和2年 (2020)	7人	20人	0.398% (27人/6775人)



実施体制



目標・行動計画の設定

テーマ	上位職への積極登用	研究力向上 リーダー育成	ダイバーシティ 研究環境整備
アウトカム	教授 30% 准教授 35% 講師 40%	科研費等応募数 30%増 科研費等採択数 20%増 原著論文等 10%増	研究者の満足度向上 介護支援制度の利用 研究者の働き方改革
プロセス	①女性准教授・講師 新規採用、昇進昇格 ②学長指名推薦による 女性教授登用 ③オープンイノベーション 講演会・交流会	①架け橋研究支援 ②バーチャル研究交流、 国際交流実施 ③介護支援の実践的援助	①託児費用補助制度 創設・和室保育利用費減 モニタリング ②介護支援の実践的援助 ③研究支援員制度の拡大 (育児・介護中継的支援等)
ストラクチャー	ダイバーシティ環境整備推進課、女性医療人リーダー育成部門、女性医師研究者支援部門	研究戦略会議、国際交流委員会、研究科長科長、先端生命科学研究所	研究推進センター 法人、病院
事業主行動計画	目標1 女性教授比率30%達成、維持	目標2 介護支援制度利用者比率0.6%	
中長期ビジョン	女性が活躍できる環境を整え、大学の理念「至誠と愛」の下に国際的に活躍し、リーダーシップを発揮できる女性を育成する		

目標・行動計画の設定

テーマ	上位職への積極登用
アウトカム	教授 30% 准教授 35% 講師 40%
プロセス	①女性准教授・講師 新規採用、昇進昇格 ②学長指名推薦による 女性教授登用 ③オープンイノベーション 講演会・交流会
ストラクチャー	ダイバーシティ環境整備事業課 理事長・学長・ 常務理事会議、理事会、 教授会

准教授、講師の
女性比率目標値を設定
学長指名推薦

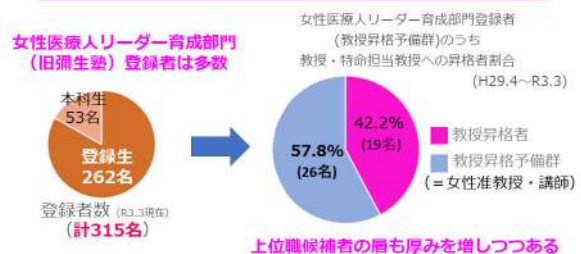
目標達成のための行動計画

(1) 上位職への積極的登用

- ① 女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進
- ② 学長指名推薦による女性教授登用
- ③ オープンイノベーション講演会・交流会の実施

(1) 上位職への積極的登用

- ① 女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進
- ② 学長指名推薦による女性教授登用



(1) 上位職への積極的登用

- ① 女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進
- ② 学長指名推薦による女性教授登用

約30%の女性教授による後押しを活用

新規採用

従来：人物/研究業績/教育業績の評価/プラスファクター

基礎医学系講座、付属研究施設の女性研究者(医師・看護師以外)を含む

プラス

「後進女性研究者を指導する能力」を評価

所属部署における若手女性研究者の業績・研究費獲得への貢献度

従来：人物/研究業績/教育業績の評価/プラスファクター

昇進・昇格

従来：人物/研究業績/教育業績の評価/プラスファクター

プラス

教員評価制度の評価結果・国際活躍業績を評価

女性研究者育成や研究環境整備への貢献度

(1) 上位職への積極的登用

- ① 女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進
- ② 学長指名推薦による女性教授登用

教授選出における透明性・公平性を保つ仕組み

学長：面接を含む総合的な適正判断
推薦理由、評価、利益相反を理事会で説明 → 選考承認されたのちに

理事会運営会議、教授会：選考委員会立ち上げ
ここでも学長が推薦理由、評価、利益相反を説明

選考委員会：書面審査、面接による適正判断
選考結果を理事会、教授会へ報告

教授会にて教授候補者講演を実施後、記名投票（無記名は無効）

選考委員会：投票結果を教授会、理事会に報告

理事会運営会議：候補者ヒアリングののち審議・決定

教授就任後も研究業績や女性上位職登用実績を継続的に評価

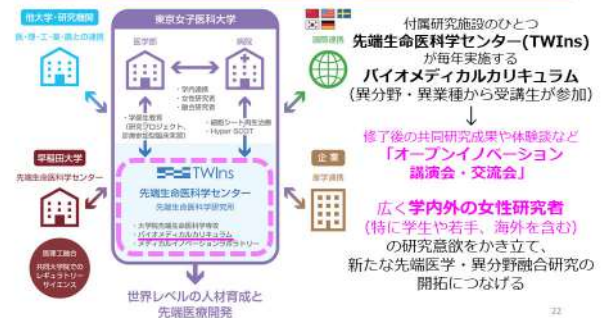
目標達成のための行動計画

(1) 上位職への積極的登用

- ① 女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進
- ② 学長指名推薦による女性教授登用
- ③ オープンイノベーション講演会・交流会の実施

(1) 上位職への積極的登用

- ③ オープンイノベーション講演会・交流会の実施



(1) 上位職への積極的登用

- ③ オープンイノベーション講演会・交流会の実施

お知らせ

第1回 オープンイノベーション講演会

日時：令和4年1月24日（月）17：00-19：00
オンラインにて開催いたします。是非ご参加ください。

演者：小林真里先生（東京農工大 特任准教授）

高橋政代先生（株式会社ビジョンケア 代表取締役社長、眼科医）

詳細が決定次第、女性医療人キャリア形成センターホームページ等でご案内いたします

目標・行動計画の設定



目標達成のための行動計画

(2) 研究力向上、リーダー育成

- ① 基礎医学と臨床工学を繋ぐ「架け橋研究」の支援
- ② バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化
- ③ 保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築

(2) 研究力向上、リーダー育成

① 基礎医学と臨床工学を繋ぐ「架け橋研究」の支援

Tissue and Organ Engineering



背景：高い研究ポテンシャル

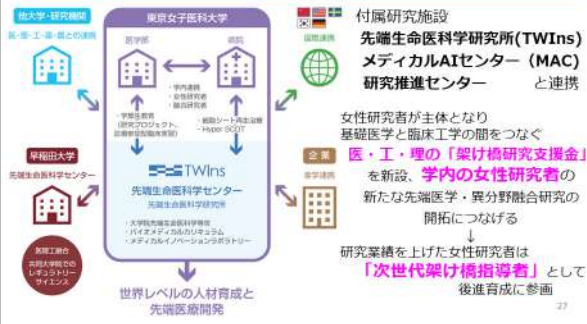
実例：東京女子医大が世界を牽引する
細胞シート工学 分野では
早稲田大を含む国内4大学と連携
さらに2011年よりアメリカ/ユタ大学と
国際共同研究を推進中
(従事する女性研究者は国内外で13名、
TWInsには2名の女性大学院生が在籍)

ティッシュエンジニアリングからオーガンエンジニアリングへ
細胞から生体同様の組織・臓器の作成が可能。ドナー臓器、実験動物を避け実現する。
患者生体への応用により患者の負担も軽減。



(2) 研究力向上、リーダー育成

① 基礎医学と臨床工学を繋ぐ「架け橋研究」の支援



1. 架け橋研究支援

基礎医学と臨床工学の間を繋ぐ、医・工・理の「架け橋研究」

すでに架け橋研究に携わっている
若しくは新たにスタートを希望する
女性研究者を支援

若手女性研究者の
増加を促進

支援総額	725万円(一人当たりの上限金額145万円) 年度毎繰り越し不可
応募資格(対象者)	<ul style="list-style-type: none"> ●東京女子医科大学に在籍する女性医師等女性研究者(申請時、大学院は除く) ●応募には、所属長の許可を必要とします。 ●卒業後および帰国後の滞在は必ず半年以上、45歳未満までの若手女性研究者を優先します。 ●応募している領域に対して、本研究支援と連携して他の組織からの協力を

来年度も募集いたします。是非ご応募ください!

申込	必要事項とする。
募集期間	今年度11月30日(水) 必着日、要領必着
応募人数	若干名
募集期間	研究支援金交付後 ～今年度3月31日(水)
応募書類	①届書 ②架け橋研究支援申請書 ③業績経歴書 ※応募書類の送付は必ずPDFダウンロードしてください(印刷、QRコード印刷)
支援金交付	11月上旬 学内公募、応募書類受付 12月上旬 審査委員会による審議開始、面接実施、審査結果通知、支援金交付
問い合わせ	表紙のQRコードからお問い合わせください。メールにて返信いたします。

目標達成のための行動計画

(2) 研究力向上、リーダー育成

- ① 基礎医学と臨床工学を繋ぐ「架け橋研究」の支援
- ② バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化
- ③ 保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築

(2) 研究力向上、リーダー育成

② バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化

国際的な国際連携

背景：盛んな国際交流



卒後20-60年卒業生アンケート(回収率45%)の結果、
長期海外在住経験者は 総計23% (留学、家族同伴など)

2021年在校生アンケートの結果、来春の交換留学を希望する声多数

国名	希望者数	希望率
中国	117名	18.0%
韓国	243名	20.3%
フランス	80名	16.1%
中国	381(24)	39.1(39)

(2) 研究力向上、リーダー育成

② バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化

学生国際交流活動ですでに活用しているデジタルプログラムを基盤として
海外の複数の大学と共用できる研究用デジタルプラットフォームを構築
 メンバー大学間で安全に研究ノウハウやデータを共有し
 研究効率を促進、国際共同研究を活性化

国際共同研究中もしくは経験を有する女性研究者：**国際交流指導者**を中心に
 新たな国際研究交流を増加

アバターロボット「ニューミー」



支援を受けた女性研究者：**次世代国際交流指導者**
 として後進育成に参画

国際共同研究支援金
 英語論文掲載料補助
 で強力にバックアップ

31

2. 国際共同研究支援

国際的研究所の増加、国際共同研究の活性化のための「国際共同研究支援」

すでに国際共同研究に携わっている
 もしくは新たにスタートを希望する
 女性研究者を支援

新たな国際的研究所の増加
 国際共同研究の活性化を
 推し進める

支援額	400万円(一人当たりの上限金額 100万円)	8年度繰り越し不可
応募条件 (対象者)	<ul style="list-style-type: none"> ●東京女子医科大学に所属として女性医師等女性研究者(非専任、大学助産師) ●志望には、所属長の許可を必要とします。 ●申請期間および採択の期限はありますが、45歳前後までの若手女性研究者を優先します。 ●応募している期間に対して、本研究年度と重複して他の機関からの助成金を受けてはなりません。 	

来年度も募集いたします。是非ご応募ください!

申込	必要書類とする。			
募集 締切日	令和3年11月30日(水) ※基本、事務連絡あり	募集 人数	若干名	研究支援金交付後 ～令和4年3月31日(木)
応募書類	①履歴書 ②国際共同研究支援申請書 ③業績目録 ※応募書類の提出は申請よりダウンロードしてください(※コード参照)			
支援金交付 決定までの 流れ	11月上旬 学内公募、応募書類受付 12月上旬 審査委員会による書類審査・面接審査、審査結果通知、支援金交付			
問い合わせ	表紙のQRコードからお問い合わせください。メールにてお問い合わせいたします。			

32

令和3年度 対象者募集

英語論文掲載料補助制度

令和3年度受付締切：令和4年2月4日(金)

対象者：東京女子医科大学に在籍する女性医師等女性研究者 (ただし、非専任、大学助産師を除く)

国際共同研究の成果として国際学術誌に掲載が決定した英文
 成果報告書に対し、掲載料 (論文・書籍掲載料、Web掲載料、
 オープンアクセス料等) の補助を行う制度です

現在募集中です (令和4年2月4日締め切り)

対象となる論文	一件につき上限40万円 以内の範囲で、本学内公募論文で 掲載されるもの	補助対象外	・学内公募論文 ・学内公募論文以外に 掲載されたもの ・学内公募論文以外に 掲載されたもの ・学内公募論文以外に 掲載されたもの
①	「Web of science」に掲載されている論文	②	学内公募論文以外に 掲載されたもの
②	海外学術誌に掲載される (性別、国籍問わず) が 掲載者として一筆以上記載されるもの	③	令和3年11月1日～令和4年1月31日まで期間に 掲載料を支払ったもの

お問い合わせ先
 女性医師キャリア形成センター ダイバーシティ環境調整事業推進課
 Mail: cdc_bm@twmu.ac.jp Tel: 03-3353-8112 内線30166
 実験室用・申込書類はホームページをご覧ください

33

目標達成のための行動計画

(2) 研究力向上、リーダー育成

- ① 基礎医学と臨床工学を繋ぐ「架け橋研究」の支援
- ② バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化
- ③ 保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築

34

(2) 研究力向上、リーダー育成

③ 保健医療分野におけるAI研究インターンシップ制度の構築

学内研究施設のひとつ

メディカルAIセンター(MAC)に「AI研究インターンシップ制度」を新設

AI研修、講習会参加機会を提供 (学内女性研究者には参加費一部補助)

広く学内外の女性研究者 (特に学生や若手研究者、医師、看護師を含む)
 の研究意欲をかき立て、新たな先端医学・AI研究の開拓につなげる

MAC「AI研究指導者」に師事し新たにAI研究を開始する女性研究者を増加

支援を受けた女性研究者：**次世代AI研究指導者**
 として後進育成に参画



AI研究スタートアップ
 支援金で
 強力にバックアップ

35

3. AI研究スタートアップ支援

保健医療分野でのAI研究推進のための「AI研究スタートアップ支援」

AI研究を新たにスタートする
 女性研究者を支援

保健医療分野での
 AI研究を推進させる

支援額	200万円(一人当たりの上限金額 100万円)	8年度繰り越し不可
応募条件 (対象者)	<ul style="list-style-type: none"> ●東京女子医科大学に所属として女性医師等女性研究者(非専任、大学助産師) ●志望には、所属長の許可を必要とします。 ●申請期間および採択の期限はありますが、45歳前後までの若手女性研究者を優先します。 ●応募している期間に対して、本研究年度と重複して他の機関からの助成金を受けてはなりません。 	

来年度も募集いたします。是非ご応募ください!

申込	必要書類とする。			
募集 締切日	令和3年11月30日(水) ※基本、事務連絡あり	募集 人数	若干名	研究支援金交付後 ～令和4年3月31日(木)
応募書類	①履歴書 ②AI研究スタートアップ支援申請書 ③業績目録 ※応募書類の提出は申請よりダウンロードしてください(※コード参照)			
支援金交付 決定までの 流れ	11月上旬 学内公募、応募書類受付 12月上旬 審査委員会による書類審査・面接審査、審査結果通知、支援金交付			
問い合わせ	表紙のQRコードからお問い合わせください。メールにてお問い合わせいたします。			

36

令和3年度 対象者募集
AI講習会、研修会参加費補助制度
令和3年度受付締切：令和4年2月4日(金)

現在募集中です（令和4年2月4日締め切り）

対象となるAI講習会、研修会
①医療分野のAI講習会、研修会
②AIの基礎知識、データサイエンス等に関する講習会、研修会
③AIに関連する資格取得のための講習会、研修会
④学会等で開催されるAI関連のセミナー、シンポジウム等

※以下は補助対象外
・AIに関する学内入会費などの年会費
・基本的なコンピュータ操作研修のための研修費

お問い合わせ先
女性医業人キャリア形成センター ダイバーシティ推進部事業推進課
Mail: coc@nri.wvu.ac.jp Tel: 03-3533-8112 内線30166

目標・行動計画の設定

テーマ ダイバーシティ 研究環境整備

アウトカム 研究者の満足度向上 介護支援制度の利用 研究者の働き方改革

プロセス ① 託児費用補助制度 休日・育児保育利用者数 モニタリング
② 介護支援の実践的援助
③ 研究支援員制度の拡大 (育児・介護中男性研究者等)

ストラクチャー 部門、女性医師研究者支援部門
研究推進センター
法人、病院

新たな育児支援導入
新たな介護支援導入
男性研究者を含めたより広いダイバーシティ研究環境形成

目標達成のための行動計画

(3) ダイバーシティ研究環境整備

- ① 学会参加時の託児費用補助制度の新設および 休日一時預かり保育制度の整備
- ② 実践的介護援助体制の構築
- ③ 研究支援員制度における対象者範囲の拡大

(3) ダイバーシティ研究環境整備

① 学会参加時の託児費用補助制度の新設および 休日一時預かり保育制度の整備

	女子医大・東京医大 ファミリーサポート	院内保育所
内容	一時預かり保育 7:00-22:00 ※保育園や園外への送迎 短時間就労や急用時	院内保育 10:00-18:00
対象	生後約2ヶ月～15歳 (一時預かり保育の場合)	生後8週～小学校就学
保育者	既定の講習会を終了した地域の方、 本学関係者	保育士
管轄	女性医業人キャリア形成センター	経営統括部 人事課

さらなる 休日一時預かり保育を整備
プラス
新たに「学会参加時の託児費用補助制度」を設ける

託児費用補助制度ははじめます！
令和3年度受付締切：令和4年2月4日(金)

現在募集中です（令和4年2月4日締め切り）

対象者
・立席（小学生）以下の子どもを持つ東京女子医科大学に在籍する女性医師等女性研究者（ただし非常勤、大学院生を除く）
※対象となる子ども一人につき1回1万円までの金額

対象となる託児サービス
・一時預かり保育（本学施設内の院内保育所）
・ベビーシッター派遣サービス（全国保育サービス協会の認定事業者に限る）
・「女子医大・東京医大ファミリーサポート」による育児支援・関連学会等の託児サービス

お問い合わせ先
女性医業人キャリア形成センター
ダイバーシティ推進部事業推進課
電話番号・申込書類はホームページをご覧ください

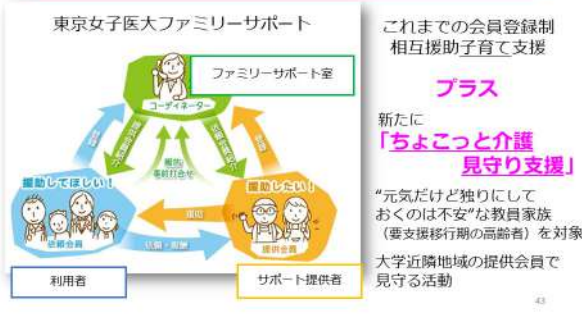
目標達成のための行動計画

(3) ダイバーシティ研究環境整備

- ① 学会参加時の託児費用補助制度の新設および 休日一時預かり保育制度の整備
- ② 実践的介護援助体制の構築
- ③ 研究支援員制度における対象者範囲の拡大

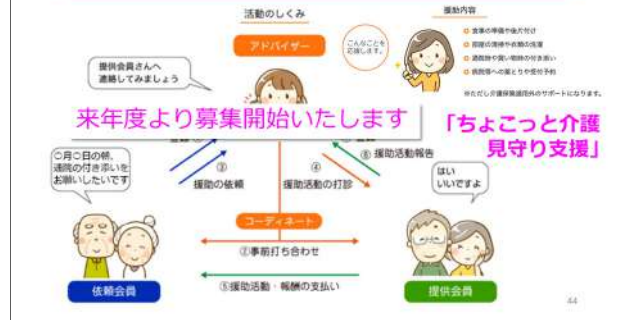
(3) ダイバーシティ研究環境整備

② 実践的介護援助体制の構築



(3) ダイバーシティ研究環境整備

② 実践的介護援助体制の構築



(3) ダイバーシティ研究環境整備

② 実践的介護援助体制の構築

お知らせ

育児・介護に関するアンケート調査にご協力ください！

東京女子医科大学および東京女子医科大学病院に在籍されている教職員の方を対象として、育児・介護に関する現状やニーズを調べることを目的としたアンケート調査を実施します。

近日中に実施を予定しております

45

目標達成のための行動計画

(3) ダイバーシティ研究環境整備

- ① 学会参加時の託児費補助制度の新設および 休日一時預かり保育制度の整備
 - ② 実践的介護援助体制の構築
 - ③ 研究支援員制度における対象者範囲の拡大
- 46

(3) ダイバーシティ研究環境整備

③ 研究支援員制度における対象者範囲の拡大

2021年度 女性医学研究者対象 研究支援員制

2020年10月1日～
2020年12月2日(必着)

これまでの女性研究者のみを対象とした研究支援員制度

プラス
新たに
「男性研究者の支援枠」設立
育児/介護により研究ベースの維持が困難な男性研究者1名を、書類審査・面接審査で公正に選抜し、1年間研究支援員1名を配属する費用を負担

来年度より募集開始いたします

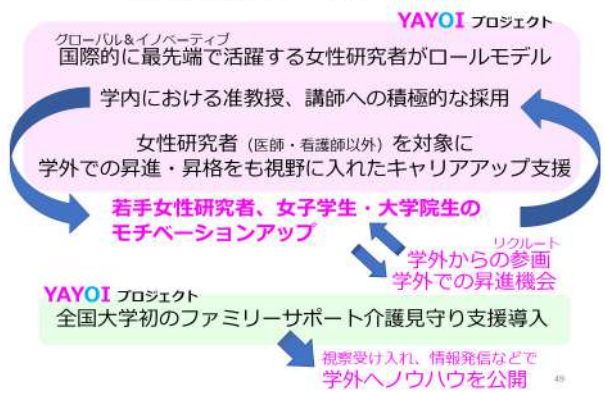
47

目標・行動計画の設定

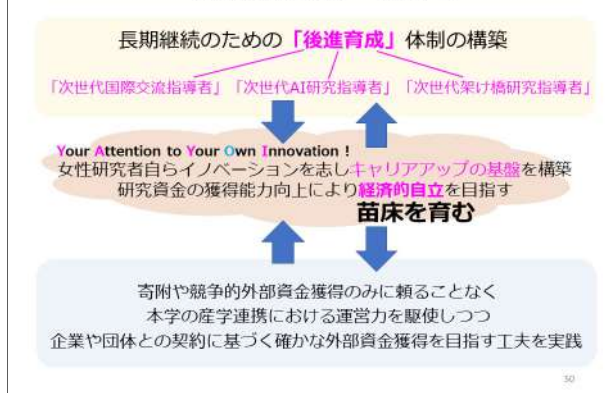
テーマ	上位職への積極登用	研究力向上 リーダー育成	ダイバーシティ 研究環境整備
アウトカム	教授 30% 准教授 35% 講師 40%	科研費等応募数 30%増 科研費等採択数 20%増 原著論文数 10%増	研究者の満足度向上 介護支援制度の利用 研究者の働き方改革
プロセス	①女性准教授・講師 新規採用、昇進昇格 ②学長指名推薦による 女性教授登用 ③オープンイノベーション 講演会、交流会	①案件横断研究支援 ②バーチャル研究交流、 国際交流実施 ③AI研究 インターンシップ制度	①託児費用補助制度 休日・病児保育利用数 モニタリング ②介護支援の実践的援助 ③研究支援員制度の拡大 (育児・介護中男性研究者)
ストラクチャー	ダイバーシティ環境整備推進室、女性医療人リーダー育成部門、女性医学研究者支援部門	理事・学長、 常務理事会議、理事会、 教授会	研究推進センター 法人、病院
事業主行動計画	目標1 女性教授比率30%達成、維持	目標2 介護支援制度利用率比率0.6%	
中長期ビジョン	女性が活躍できる環境を整え、本学の理念「至誠と愛」の下に国際的に活躍し、リーダーシップを発揮できる女性を育成する		

48

波及効果・相乗効果



継続体制・計画



グローバルヘルスリーダー育成と 更なる女性登用 「YAYOI プロジェクト」



東京女子医科大学
女性医療人キャリア形成センター
センター概要 | 活動状況 | eラーニング | 刊行物・資料 | 寄付のお願い

学外ホームページ：先端型については現在掲載準備中です

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ

東京女子医科大学は、平成28年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」に採択されました。本事業は、研究者のライフイベント及びワークライフ・バランスに配慮した研究環境の改善やそれに向けた機関内の意識改革、女性研究者の視野の拡大、女性研究者の研究力の向上及び上位職への積極登用に向けた多様な取組などを行う大学等を支援するものです。

本学では、実績をあげてきた従来の取組にさらに多様な視点と想像を取り入れ、女性研究者の研究力向上・上位職登用を実現させるため、次の取組を進めてまいります（実施期間：平成28年度～令和3年度（予定））。

Welcome to TWMU Career Development Center for Medical Professionals

女性医療人キャリア形成センター
★連絡先★
Tel : 03-3353-8112
内線30165,30166
Mail:cdc_bmi@twmu.ac.jp

News

学内ホームページ

- 2021/11/25 【受付開始】英語論文掲載料補助制度(2/4)(金)締切
- 2021/11/25 【受付開始】AI講習会、研修会参加費補助制度(2/4)(金)締切
- 2021/11/16 【受付開始】学会等参加時の旅費補助制度(2/4)(金)締切
- 2021/11/08 【公募のお知らせ】「架け橋研究支援」「国際共同研究支援」「AI研究ステータップ支援」(11/30)(火)締切
- 2021/11/04 【YouTube公開】リーダーに求められるストレス対処の処方箋
- 2021/10/29 【有差編】スキルアップ研修「年間研修一覧表」を更新しました
- 2021/10/27 本学は、令和3年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」に採択されました。
- 2021/10/25 【YouTube公開】英語論文セミナー「①Presentations」「②Oral communication」「③Writing」
- 2021/10/01 2022年度「研究支援員制度」利用者募集開始のお知らせ

R3年度ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型） 2021/12/4
キックオフミーティング

グローバルヘルスリーダー育成と 更なる女性登用 「YAYOI プロジェクト」



II 事業報告① - 上位職への積極登用 -

女性教授割合の拡大状況

平成 28(2016)年に採択された「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（特色型）」では、女性教授率 30%を目標に様々な取組を行い、令和 2(2020)年 7 月に特命担当教授（将来の教授候補者）を含めた女性教授率 31.1%を達成しました。

本事業では特命担当教授を含まない「女性教授率 30%の達成と維持」を目標とし、OECD 加盟国に匹敵する女性教授比率の達成を目指します。

【教授の女性割合と在籍数】 ※（ ）は特命担当教授を含む数値

	女性割合	女性	男性	合計
令和 2(2020)年 7 月	29.5%(31.1%)	39 (42)	93	132(135)
令和 3(2021)年 4 月	27.7%(29.3%)	36 (39)	94	130(133)
令和 3(2021)年 12 月	26.5%(28.1%)	36 (39)	101	136(139)

女性准教授・講師の新規採用および昇進昇格の促進

女性教授比率の向上に加え、次世代の女性教授候補者層を厚くし裾野を広げるためには、女性准教授・講師を着実に育成していくことが不可欠です。優れた女性教員（女性研究者）に対し女性准教授・講師昇進昇格を積極的に実施し、女性教授比率 30%を今後も維持していくために、これまで 30%程度に留まっていた新規採用も含めた女性准教授比率、講師比率をそれぞれ 35%、40%とする目標を設定しました。本学では「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」の一環として令和 2(2020)年度から教員評価制度が本格的に始動しており、適切な評価体制が整っています。また学祖 吉岡彌生先生の精神を受け継ぎ、社会のリーダーとしてより良い社会を作るために活動することを目指す女性医療人のための組織「女性医療人リーダー育成部門」の本科生・登録生制度構築により、層の厚い人材育成を行ってきたことから、本事業では女性准教授・講師に関する学長指名推薦枠を導入、さらに看護系教育・研究職についても（特任教授、特任准教授に相当する）女性上位職の枠を新たに導入することで、女性教授候補者の層を厚くし、女性上位職の裾野を拡大します。

【准教授・講師の女性割合と在籍数】

	准教授				講師			
	女性割合	女性	男性	合計	女性割合	女性	男性	合計
令和 3(2021)年 12 月	27.0%	33	89	122	33.1%	51	103	154

◆キャリアアップのための実践的な個別アドバイス体制の整備

登録制のメンターによるキャリア形成のための個別アドバイス体制を整備しています。具体的には、准教授・講師がメンター登録をし、メンティとなる助教・研修医・院生など女性研究者を募集、これをマッチングして、オンラインもしくは対面でキャリア形成のための個別相談会を実施できるよう準備を進めています。

◆助教や研修医に対し、准教授や講師をロールモデルとした「ピアラーニング」の展開

特色型で教授昇格を目的として行ってきた「ピアラーニング」の「准教授・講師版」を「ピアラーニング for 彌生人（やよいびと）」と称し、臨床・基礎・看護など様々な分野への展開を企画しています。この「ピアラーニング for 彌生人（やよいびと）」のネーミングは、本学が輩出してきた多くのグローバルヘルスリーダーをロールモデルとし、これを目指す志を持つすべての女性研究者を「彌生人（やよいびと）」と総称することを由来としています。

学長指名推薦による女性教授登用

学長の強いリーダーシップのもと、優れた実績のある女性教員(研究者)の上位職登用を推し進めます。「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」において、これまでの「上位職への積極登用」の行動計画ではプラスファクターおよび特命担当教授任命制度により教授昇格者数が大幅に増加しましたが、本事業ではさらに学内の基礎系研究室、臨床系研究室、理工系研究施設に所属する医師・看護師以外の女性研究者を含め、必要に応じて学外からも、学長指名推薦による女性教授候補者を増やしていきます。すでに教員評価制度の高評価に基づいて学長指名推薦を受けた女性教授候補者が、第三者評価による公正な教授選考委員会の選考を経て教授に任命されています。

オープンイノベーション講演会・交流会の実施

リーダーシップを発揮し異分野を繋げて未来の医療を担う女性医療人「彌生人（やよいびと）」の育成には、医・工・理含めた異分野連携、異業種連携の場が不可欠です。本学の医学系・理工系融合研究施設である先端生命医科学研究所が主催する「バイオメディカル・カリキュラム」（以下 BMC）は、学内のみならず外部の企業、研究所、病院、文系大学など異分野・異職種からの参加希望者を対象とした医学全般のリカレント教育コースであり、医学・生命科学と理工学の先端テクノロジーを融合した新しい先端医療の実現に貢献する幅広い人材育成と研究・開発の実践を目指しています。既に 50 年以上の歴史を持ち修了生は 2000 名を超え、医薬品・医療機器分野の他、化学・材料分野、食品分野、情報・通信分野、出版分野など様々な異分野業界の第一線で活躍する人材を数多く輩出しており、中には女性も含まれています。

本事業では現在活躍中の BMC 修了生（女性を含む）によるオンライン講演会や交流会を実施し、広く学内外、国内外から女性研究者の参加を促すことで、女性研究者を中心としたコミュニティの形成、活性化を推進していきます。

◆第1回 オープンイノベーション講演会

日時：令和4年1月24日（月）17：00-19：00

方法：オンライン

演者：小林真里先生（東京農工大学 卓越リーダー養成機構 特任准教授）

高橋政代先生（株式会社ビジョンケア 代表取締役社長、眼科医）

参加者：約50名



（パネルディスカッションの様子）

小林真里先生

高橋政代先生



本学 麻酔科学
長坂安子教授・基幹分野長

先端生命医科学研究所
関谷佐智子助教（司会）

● 上位職への積極登用の取組 リーフレット

◆第1回 オープンイノベーション講演会

第1回

令和3年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」

Your Attention to Your Own Innovation !
オープンイノベーション講演会

日時 令和4年
1月24日 17:00-19:00
オンライン

【第1部】 ダイバーシティ(先端型)事業紹介

「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型) YAYOIプロジェクト」
本多 祥子 (ダイバーシティ環境整備事業推進室長、解剖学講座(科型分子形態学分野)准教授)

「YAYOIプロジェクト オープンイノベーション 異分野融合研究の活性化」
清水 達也 (先端生命科学研究所 所長、教授)

【第2部】 講演会

「ビジョン思考のすすめ」
小林 真里先生 (東京農工大学 卓越リーダー養成機構 特任准教授)

「網膜再生医療とサステナブルメディスン」
高橋 政代先生 (株式会社ビジョリア 代表取締役社長、眼科医)

パネルディスカッション
小林真里先生、高橋政代先生、長坂安子先生 (麻酔科学分野長、教授)

お申込 <https://forms.gle/BMcYHL19KcbHT398>

右記QRコード
もしくはURLから
お申込み下さい

QRコード

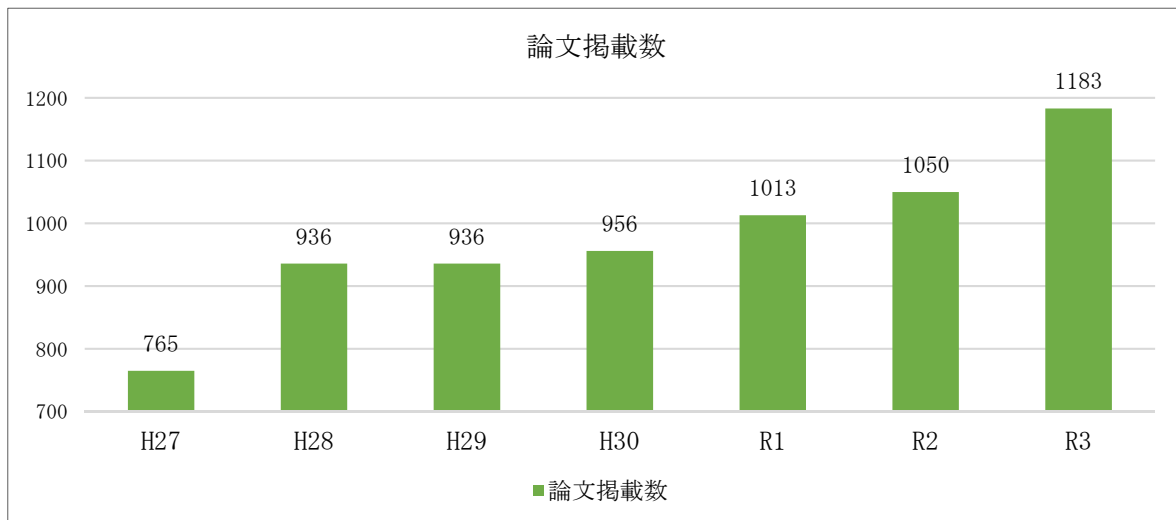
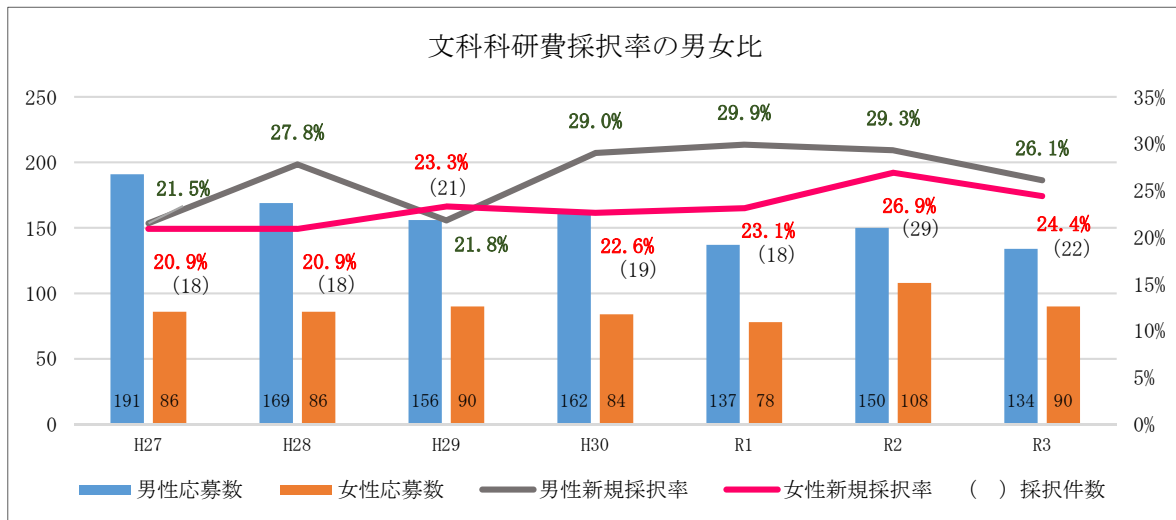
参加費無料
先着200名様
※1月12日締切迄

女性医職人キャリア形成センター
TEL: 03-3353-8112 (内線30166)
MAIL: cdc_bms@twmu.ac.jp
URL: <http://www.twmu.ac.jp/gender/>

Ⅲ 事業報告② - 研究力向上とリーダー育成 -

本学の研究力向上状況

本学女性教職員の科研費応募件数は例年コンスタントに維持されております。本事業では、女性研究者の科研費等競争的研究資金の応募数 30%増、新規採択率 20%増、原著論文等 10%増を目指します。



基礎医学と臨床工学を繋ぐ架け橋研究の支援

本学の先端生命医科学研究所では 20 年前より独自の細胞シート工学を開発し、これを幹細胞生物学と臨床工学の架け橋として治療・創薬・疾患研究に応用しています。更には細胞農業を含めた異分野融合研究も始まっており、今後の幅広い展開が期待され既に本学内の医学部学生や若手研究者の注目を集めています。看護学領域においても、基礎医学研究の知見に発したアイデアを予防や治療、ケアのための技術・材料・機器開発に応用することで新たな研究開発分野を開拓できる可能性は大きく、本事業では、このような基礎医学と臨床工学の間を繋ぐいわば医・工・理の架け橋研究をスムーズに開始できるスタートアップ支援などの体制を構築し、これに関わる若手女性研究者の増加を促進していきます。本学には臨床工学と医学の先端的研究を行う研究施設として先端生命医科学研究所、メディカル AI センター、研究推進センターがあり、基礎医学系研究室との長年の共同研究実績も数多く、架け橋研究の基盤を有しています。先端技術に関わる研究開発を通じて、女性グローバルヘルスリーダーに欠かせない倫理的・法的・社会的な課題についての知見を深めます。

◆「架け橋研究支援金」制度の実施

架け橋研究スタートを希望する女性研究者を『架け橋研究支援金』により支援する制度です。これにより、架け橋研究の促進と、架け橋研究に関わる若手女性研究者の増加を推進します。令和 3(2021)年度は 4 名が採択され、令和 3(2021)年 12 月に授与式が行われました。

・ 関谷佐智子助教（先端生命医科学研究所）

ー研究課題名

「生体外ヒト腎障害モデルに向けた腎オルガノイドの血管機能化」



・ 青木信奈子助教（先端生命医科学研究所）

ー研究課題名

「医工連携によるヒト心筋組織の構造・機能に対する血管新生抑制性制御の検証」



・ 番場嘉子准講師（下部消化管外科）

-研究課題名「手術室での複合現実 - 画像の投影と手術環境の情報共有による手術支援 -」



・ 金谷萌子助教（生理学（神経生理学分野））

-研究課題名「機械学習を活用した痛み行動評価系の確立」



◆ 「架け橋研究指導者」の任命

基礎医学と臨床工学を繋ぐ「架け橋研究」を促進するため、担当責任者を「架け橋研究指導者」に任命しました。次年度は、令和3(2021)年度採択者が指導者として登録され、後進育成の役割を担います。また、指導者が各種相談に対応するための体制（相談希望者募集要項、メンターとのマッチング、オンライン・リアルでの相談環境など）準備を進めています。

◆ 「架け橋研究紹介ツアー」の企画

架け橋研究開始を希望する女性研究者を増やすため、既に学内で進行中の異分野融合研究プロジェクトを多数紹介し、それらの研究プロジェクトに関わる研究者と新たに参加を希望する研究者とが相互に意見交換できる場「架け橋研究紹介ツアー」の開催準備を進めています。

バーチャル国際研究交流体系の構築および実用活性化

これまで本学医学部・看護学部では国際交換留学が盛んに行われており、世界の多数の大学との国際留学協定のもとで多くの学生を送り出し、また受け入れてきました。COVID-19 感染蔓延はいつ終わるとも知れず、このような海外渡航困難な状況下でも、既に本学では国際交流委員会が中心となり、海外留学を目指す学生、研究者、医師、看護師を対象に、海外経験を有するまたは海外で活躍中の卒業生や教職員からデジタルプラットフォーム上で経験談を聞き相互交流するプログラム「アナザースカイ」を定期的に実施（2020 年度 11 名参加）しています。また看護学部においては COIL（Collaborative Online International Learning）を応用した国際教育プログラムが講義の一環として既に実践されており、長年にわたり学生交換留学を実施してきた海外の大学とオンライン交流が盛んに行われています。

本事業ではこれら国際交流の効果を研究レベルに拡大し活用するため、すでに国際留学協定の実績で信頼のある大学を含めた海外の複数の大学と、共用の研究デジタルプラットフォームを構築し、メンバー大学間で安全に共同研究活動を実施でき、情報やノウハウを相互に共有して研究効率を上げるためのシステム構築を目指します。これにより学内の海外留学・国際共同研究経験のある研究者（2016 年 4 月～2021 年 3 月末現在女性研究者 12 名が在籍、現職の女性教授の中には 2020 年度国際共同研究加速基金を獲得した女性教授を含め、長期間の海外留学経験者が多数）を中心とした新たな国際的研究交流の増加、国際共同研究の活性化を推し進め、さらに英語論文が採択された研究者には掲載料の補助を行い、研究力向上および上位職登用への促進を図ります。

また本学の先端生命医科学研究所がすでに活用しているアバターロボットを利用することにより、国内外の研究者が本学の研究現場に立ち合いディスカッションしたり、講義や研修を受けたりすることを可能にします。既に本学の研究者と米国の研究者との間でアバターロボットを用いたカンファレンスが試みられており、本事業ではその更なる利用拡大、国際共同研究活性化への貢献を支援していきます。

◆「国際共同研究支援」制度の実施

国際共同研究にすでに関わっている、もしくは新たにスタートを希望する女性研究者を『国際共同研究支援金』により支援する制度です。支援対象者が国際共同研究に積極的に関わることで、新たな国際研究交流の増加や国際共同研究の活性化を推し進めることを目的とします。令和 3(2021)年度は 3 名が採択され、令和 3(2021)年 12 月に授与式が行われました。

・石津綾子教授・基幹分野長（解剖学（顕微解剖学・形態形成学））

一研究課題名

(和文) 単一造血幹細胞におけるサイトカイン応答性解析

(英文) Single cell based analysis of hematopoietic stem cell response to cytokine signaling

※シンガポール国立大学との共同研究



・河村（中山）寿子助教（生理学（神経生理学分野））

ー研究課題名

（和文）ストレスによる視床神経回路の改編

（英文）Stress-induced remodeling of neuronal circuits in the sensory thalamus

※コレージュ・ド・フランス、INSERM, パリ文理研究大学との共同研究



・風幸世助教（国際環境・熱帯医学）

ー研究課題名

（和文）アフリカ辺境地域における栄養不良の原因とリスク要因の解明

（英文）Determining the causes and risk factors of malnutrition in marginal areas of Africa

※ケニア中央医学研究所、ケニア保健局、マウントケニア大学、長崎大学等との共同研究



◆「国際共同研究指導者」の任命

「国際共同研究」を促進するため、担当責任者を「国際共同研究指導者」に任命しました。次年度は、令和3(2021)年度採択者が指導者として登録され、後進育成の役割を担います。また、指導者が各種相談に対応するための体制（相談希望者募集要項、メンターとのマッチング、オンライン・リアルでの相談環境など）準備を進めています。

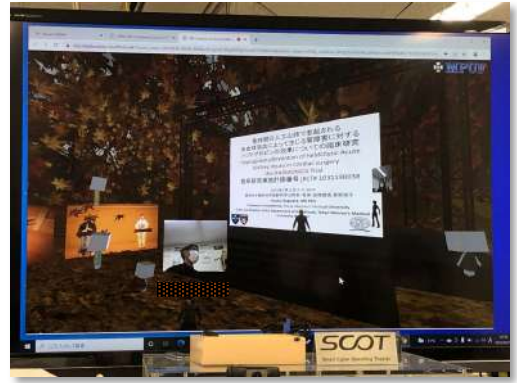
◆「英語論文掲載料補助制度」の実施

国際的な研究力向上および女性研究者の上位職登用の機会を増やすことを目的とし、国際共同研究の成果として国際学術雑誌掲載が決定した英文成果報告に対し、掲載料（論文・表紙掲載料、Web掲載料、オープンアクセス料等）の補助を行う制度を設立しました。令和3(2021)年度は1名に支援を行いました。

◆国際共同研究用デジタルプラットフォームの構築

海外の複数の大学との共同研究を活性化することを目的として研究用デジタルプラットフォームを構築し、これを活用した国際研究講演会・交流会の企画を進めています。

令和4(2022)年2月11日、MPUF XRCC(XR Conference Cloud)を活用したハーバード大学と長坂安子教授・基幹分野長を中心とする麻酔科による国際共同研究キックオフミーティングを実施しました。



◆アバターロボットを使用するためのデジタル環境の構築

学外（海外を含む）と学内の研究者間で臨場感のある研究交流の実施を目指し、アバターロボットを安定して使用可能なデジタル環境を構築するための準備を行っています。

令和3(2021)年11月24日には米国ブラウン大学の南太郎先生と、翌25日には米国アラバマ大学の太賀賀先生とのアバターロボットを使用した接続実験を行いました。

令和4(2022)年1月27日、アバターロボット「temi」を使用して、シンガポール国立大学の国際共同研究者が石津綾子教授・基幹分野長の案内で解剖学（顕微解剖学・形態形成学）のラボを視察しました。



保健医療分野における AI 研究インターンシップ制度の構築

文部科学省ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)の事業においては、本学卒の女性研究者が、令和2(2020)年度の研究支援員制度を活用し AI 研究を開始するなど、学内では医療 AI 研究の機運が高まっています。AI 研究への若手女性研究者参画をこれまで以上に促進するため、本事業では学内外の研究者に AI 活用の基本を学修する機会や実際の AI 開発の現状を習得する機会を豊富に提供し、女性研究者の学内外における AI 研修、講習会参加を支援します。また医療 AI 研究に特化した学内研究施設であるメディカル AI センターにおいて、新たに AI 研究インターンシップ制度を構築し、学内外の様々な保健医療分野で活躍する女性研究者が AI 研究を開始できるようスタートアップ支援を行います。

◆「AI 研究スタートアップ支援制度」の実施

AI 研究を開始する女性研究者を「AI 研究スタートアップ支援金」により支援し、保健医療分野における AI 研究を増加・促進します。令和3(2021)年度は3名が採択され、令和3(2021)年12月に授与式が行われました。

・岩下華子准講師（国際環境・熱帯医学）

-研究課題名

「ノーコードディープラーニングを活用した
ケニアにおける住民参加型マラリア媒介蚊
対策」



・熊坂綾乃看護師（看護部）

-研究課題名

「Artificial intelligence(AI)を用いたスト
ーママネージメント支援ツールの開発」



・河合萌子助教（眼科）

ー研究課題名「機械学習を利用したデータクラスタリング」



◆「AI 研究指導者」の任命

「AI 研究」を促進するため、担当責任者を「AI 研究指導者」に任命しました。次年度は、令和3(2021)年度採択者が指導者として登録され、後進育成の役割を担います。また、指導者が各種相談に対応するための体制（相談希望者募集要項、メンターとのマッチング、オンライン・リアルでの相談環境など）準備を進めています。

◆「AI インターンシップ制度」の構築

保健医療分野における AI 研究を活性化するプロジェクトとして、希望者（新たな AI 研究開始を希望する女性研究者、AI 研究に興味を持つ大学院生や学生を含む）が AI 医療研究実践に必要な基本知識を効率良く学べる AI インターンシップ制度を構築しました。本学のメディカル AI センター（以下、MAC）ではすでに定期的に MAC 主催 AI 講習会、AI 演習会を開催することで AI 教育を実施しており、更に本事業主催による AI 講習会、AI 演習会を学内で開催し、多くの女性研究者が参加しました。

・第1回医療・ヘルスケア AI 講演会

日時：令和4(2022)年2月7日(月)17時30分-18時40分

方法：Web セミナー形式で開催

参加者：98名

・第1回アノテーション演習会

日時：令和4(2022)年2月14日(月)17時-18時

方法：Web セミナー形式で開催

参加者：4名（定員5名）

◆「AI 講習会、研修会 参加費補助制度」の実施

AI 研究へ参画を希望する女性研究者が、学内外の AI 講習会や研修会等に参加する場合の参加費用を補助する制度を設立しました。女性研究者が自らの希望するテーマで AI 研究を開始するための基本知識習得機会を増やすことを目的としています。令和3(2021)年度は4名に支援を行いました。

● 研究力向上とリーダー育成の取組 リーフレット

◆研究支援 公募のお知らせ

令和3年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」

研究支援 公募のお知らせ

1. 架け橋研究支援
2. 国際共同研究支援
3. AI研究スタートアップ研究支援

【募集要項、応募書類】
QRコードまたはURLよりHPをご覧ください。



【お問い合わせ】
フォームからの問い合わせにご協力をお願い致します。
内容確認後、追って事務局よりメールにて回答いたします。



東京女子医科大学 女性医療人キャリア形成センター
ダイバーシティ研究環境整備事業推進室

1. 架け橋研究支援

基礎医学と臨床工学の間を繋ぐ、医・工・理の「架け橋研究」

すでに架け橋研究に携わっている
もしくは新たにスタートを希望する
女性研究者を支援

➔

若手女性研究者の
増加を促進

支援総額	725万円(一人当たりの上限金額145万円) ※年度繰り越し不可		
応募条件 (対象者)	<ul style="list-style-type: none"> ◆東京女子医科大学に在籍する女性医師等女性研究者(非専勤、大学院生除く) ◆応募には、所属長の許可を必要とします。 ◆年齢制限および職位の制限はありませんが、45歳程度までの若手女性研究者を優先します。 ◆応募している課題に対して、本研究支援と重複して他の組織からの助成金を受けていても差し支えありません。 		
支援金 使途	本研究に直接要する物品(ただし設備用品以外)の購入費用、その他研究遂行に必要な費用とする。		
募集 締切日	令和3年11月30日(火) ※原本、事務局必着	募集 人数	若干名
応募書類	①履歴書 ②架け橋研究支援申請書 ③業績目録 ※応募書類の書式はHPよりダウンロードしてください(表紙のURL、QRコード参照)	事業 期間	研究支援金交付後 ～令和4年3月31日(木)
支援金交付 決定までの 流れ	11月上旬 学内公募、応募書類受付 12月上旬 審査委員会による書類審査・面接審査、審査結果通知、支援金交付		
問い合わせ	表紙のQRコードからお問い合わせください。メールにて回答いたします。		

「募集要項」は表紙のQRコードよりご覧いただけます。
応募前に必ずご確認ください。

2. 国際共同研究支援

国際的研究交流の増加、国際共同研究の活性化のための「国際共同研究支援」

すでに国際共同研究に携わっている
もしくは新たにスタートを希望する
女性研究者を支援

➔

新たな国際的研究交流の増加
国際共同研究の活性化を
推し進める

支援総額	400万円(一人当たりの上限金額100万円) ※年度繰り越し不可		
応募条件 (対象者)	<ul style="list-style-type: none"> ◆東京女子医科大学に在籍として女性医師等女性研究者(非専勤、大学院生除く) ◆応募には、所属長の許可を必要とします。 ◆年齢制限および職位の制限はありませんが、45歳程度までの若手女性研究者を優先します。 ◆応募している課題に対して、本研究支援と重複して他の組織からの助成金を受けていても差し支えありません。 		
支援金 使途	本研究に直接要する物品(ただし設備用品以外)の購入費用、その他研究遂行に必要な費用とする。		
募集 締切日	令和3年11月30日(火) ※原本、事務局必着	募集 人数	若干名
応募書類	①履歴書 ②国際共同研究支援申請書 ③業績目録 ※応募書類の書式はHPよりダウンロードしてください(表紙のURL、QRコード参照)	事業 期間	研究支援金交付後 ～令和4年3月31日(木)
支援金交付 決定までの 流れ	11月上旬 学内公募、応募書類受付 12月上旬 審査委員会による書類審査・面接審査、審査結果通知、支援金交付		
問い合わせ	表紙のQRコードからお問い合わせください。メールにて回答いたします。		

「募集要項」は表紙のQRコードよりご覧いただけます。
応募前に必ずご確認ください。

3. AI研究スタートアップ支援

保健医療分野でのAI研究推進のための「AI研究スタートアップ支援」

AI研究を新たにスタートする
女性研究者を支援

➔

保健医療分野での
AI研究を推進させる

支援総額	200万円(一人当たりの上限金額100万円) ※年度繰り越し不可		
応募条件 (対象者)	<ul style="list-style-type: none"> ◆東京女子医科大学に在籍として女性医師等女性研究者(非専勤、大学院生除く) ◆応募には、所属長の許可を必要とします。 ◆年齢制限および職位の制限はありませんが、45歳程度までの若手女性研究者を優先します。 ◆応募している課題に対して、本研究支援と重複して他の組織からの助成金を受けていても差し支えありません。 		
支援金 使途	本研究に直接要する物品(ただし設備用品以外)の購入費用、その他研究遂行に必要な費用とする。		
募集 締切日	令和3年11月30日(火) ※原本、事務局必着	募集 人数	若干名
応募書類	①履歴書 ②AI研究スタートアップ支援申請書 ③業績目録 ※応募書類の書式はHPよりダウンロードしてください(表紙のURL、QRコード参照)	事業 期間	研究支援金交付後 ～令和4年3月31日(木)
支援金交付 決定までの 流れ	11月上旬 学内公募、応募書類受付 12月上旬 審査委員会による書類審査・面接審査、審査結果通知、支援金交付		
問い合わせ	表紙のQRコードからお問い合わせください。メールにて回答いたします。		

「募集要項」は表紙のQRコードよりご覧いただけます。
応募前に必ずご確認ください。


◆英語論文掲載料補助制度

令和3年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先進型）」

令和3年度 対象者募集
英語論文掲載料補助制度
令和3年度受付締切：令和4年2月4日(金)

対象者：東京女子医科大学に在籍する女性医師等女性研究者（ただし非常勤、大学生を除く）

国際共同研究の成果として国際学術雑誌掲載が決定した英文成果報告に対し、掲載料（論文・表紙掲載料、Web掲載料、オープンアクセス料等）の補助を行う制度です



対象となる論文
以下の①～③を全て満たすものを対象とする

- ① 「Web of science」に収録されている査読付き学術雑誌に掲載が決定した原著論文
- ② 海外研究機関に所属する者（性別・国籍問わず）が共著者として一名以上含まれるもの
- ③ 令和3年11月1日～令和4年1月未までの期間に掲載料を支払ったもの

補助対象外

- ・一件につき上限40万円
- ・年度内1論文まで
- ・その他※1
- ・論文投稿料
- ・別冊作成にかかる印刷代※2
- ・英文校閲費用 ※1,2HP参照

お問い合わせ先
女性医療人キャリア形成センター ダイバーシティ環境整備事業推進室
Mail : cdc.br@twmu.ac.jp Tel : 03-3353-8112 内線30166
実施要項・申込書類はホームページをご覧ください

◆AI 講習会、研修会 参加費補助制度

令和3年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先進型）」

令和3年度 対象者募集
AI講習会、研修会参加費補助制度
令和3年度受付締切：令和4年2月4日(金)

東京女子医科大学に在籍する女性医師等女性研究者（ただし非常勤、大学院生を除く）対象
補助金額は一件につき上限10万円
申請者一名につき年度内2回まで申請可能



対象となるAI講習会、研修会 ※オンラインによる参加も含む

- ① 医療保険分野のAI講習会、研修会
- ② AIの一般基礎知識、データサイエンス等に関する講習会、研修会
- ③ AIに関する資格取得のための講習会、研修会
- ④ 学会等で開催されるAI関連のセミナー、シンポジウム等

※以下は補助対象外

- ・④に関連する学会入会費ならびに年会費
- ・基本的なコンピューター操作訓練のための研修費

お問い合わせ先
女性医療人キャリア形成センター ダイバーシティ環境整備事業推進室
Mail : cdc.br@twmu.ac.jp Tel : 03-3353-8112 内線30166
実施要項・申込書類はホームページをご覧ください

◆第1回 AI 講演会

令和3年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先進型）」

グローバルヘルスリーダー育成と更なる多様性実現「AI/ML プロジェクト」
Your Attention to Your Own Innovation

医療現場へのAI活用が分かる！
第1回 医療・ヘルスケアAI講演会
東京女子医科大学 女性医療人キャリア形成センター主催

日時 2月7日(月) 17:30～18:40
会場 Webセミナー形式で開催
参加費無料

こんな方にオススメ！

- 医師等の医療・病院関係者
- 製薬、医療機器、臨床検査、健康美容等の医療・ヘルスケア関連企業
- その他医療分野におけるAIの活用に興味を持つ方、メディアなど

講演内容

- ① 「テキストデータの医療応用例と今後の課題
——鳥瞰図描画型からピンポイントフォーカス型テキストマイニングへ——」
・内容：電子カルテをはじめとする多様な医療関連のテキストデータは、今後の医療技術向上のための大きな潜在的可能性を有しているが、画像データと違ってテキストデータの利用は、その意味と多岐にわたる統計解析は多くの困難を抱えているため、十分な成果をあげていないのが現状である。今後、この克服のためにさまざまな試行錯誤が求められることになろう。したがってここでは、医療におけるテキストデータ解析手法が直面している困難な現状を論じるとともに、その克服の方向性について提示する。
・講師： 藤田 文男（こもだ ふみお）先生
・所属： 埼玉大学名誉教授（元埼玉大学経済学部教授、元埼玉大学学長）
- ② 「メディカル時系列データと深層学習」
・内容：メディカル分野の時系列データの深層学習はあまり知られていない。そこで、時系列データとして公開されている1～2秒の心拍1回分の心電シグナル変化を、正常を含む9カテゴリに分類した心電図を数種類の深層学習アルゴリズムで解析し、モデルの構成方法、その特徴、結果の違い等を説明し、時系列深層学習を概観する。
・講師： 田中 順治（たなか じゅんじ）先生
・所属： 株式会社スタージェンAI事業部

参加申込みお問い合わせ 裏面に記載の内容に準じてお申込み、お問い合わせください

◆第1回アノテーション演習会

令和3年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先進型）」

グローバルヘルスリーダー育成と更なる多様性実現「AI/ML プロジェクト」
Your Attention to Your Own Innovation

動画・画像データをAI用教師データにする！
第1回 アノテーション演習会
主催：東京女子医科大学 女性医療人キャリア形成センター

「動画・画像データを持っており、AIにも興味を持っているが、AIに学習させるために何をすればいいのかわからない...」
こんな方のために、教師用データ作成の実習を行います。
無料のソフトを使用して、ご自身のPCでデータ作成を実施して頂きます。
AIに興味を持ちつつも、ハードルが高いと感じている方に！
超初心者向け！

内容

医療分野におけるAI活用として、ゲノム医療、画像診断支援、診断・治療支援、医薬品開発、手術支援が注目されている中、AI作成全体フローを理解し、AI学習での教師データの必要性を理解する。そのうえで、画像データ教師データ作成ツールであるアノテーションソフトを実際に使って教師データの作成方法を体験する。

日時 令和4年1月27日(木) 17:00～18:00
会場 彌生記念教育棟 1階 104会議室
※スペースが限られているため、ノートPC以外の手荷物は最小限に留めて下さい
定員 5名 **参加費無料**
対象 本学所属の女性研究者（医師・看護師・その他non-MD、院生も広く含める）
講師 熊坂秋彦（くまさかあきひこ）
株式会社スタージェン 統計解析事業部所属
参加申込みお問い合わせ 裏面に記載の内容に準じてお申込み、お問い合わせください
当日の持ち物等についても、裏面をご確認ください

IV 事業報告③ - ダイバーシティ研究環境整備 -

本学の研究環境整備状況

平成 28(2016)年度ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)における様々な取組により育児支援を含む種々の研究環境整備を推進してきました。特に「女子医大・東京医大ファミリーサポート」による信頼度の高いきめ細やかな子育て支援は、全国に大きな社会的波及効果をもたらしています。

本事業では、更なる育児支援として学会参加時の託児費補助制度の新設および休日一時預かり保育制度の整備と、「女子医大・東京医大ファミリーサポート」を委託している特定非営利活動法人子育てネットワーク・ピッコロと連携した介護見守り支援サービス“ちょこっと介護見守り支援”の新設を進めます。また同じく特色型事業で構築した研究支援員制度の利用対象者範囲をこれまでの女性だけでなく男性にも拡大し、更なる研究環境整備を図ります。

学会参加時の託児費補助制度の新設および休日一時預かり保育制度の整備

若手研究者の良い発表機会である学会の地方会や研究会などは土日祝日に実施されることが多く、比較的規模の小さい学術集会では託児サービスが用意されていないことも多々あります。また、国際学会や在宅オンラインで参加可能な学会では託児サービスの利用が難しく、参加の障壁となっています。そこで本事業では、託児サービスのない学会(地方会・研究会)、研修会、国際学会など(オンライン含む)に参加する際の託児費用の補助、更に本学施設内の院内保育所における土日祝日を含めた一時預かり保育制度を整備します。

◆学会等参加時の託児費補助に関するニーズ調査の実施

学会等参加時の託児費補助に関するニーズ調査を介護現状・ニーズ調査と合わせた「育児・介護に関するアンケート調査」を男女問わず本学全教職員を対象に実施しました。(アンケート結果は 52~60 ページ参照)

◆「学会参加時等の託児費補助制度」の実施

国内・国際学会、地方会・研究会、研修会など(オンラインを含む)に参加する育児中の女性研究者が、託児サービス(ベビーシッター、一時預かり保育、ファミリーサポート、開催学会等の託児サービスなど)を利用する際、その費用を一部または全額補助する制度を設立しました。令和 3(2021)年度は 1 名に支援を行いました。

◆院内保育所(学校法人東京女子医科大学附属病院院内保育所)におけるモニタリング調査の実施

保育園利用者の利便性と保育の安全性の向上のために院内保育所の ICT 環境整備を進めています。タブレット端末と専用ソフトを用いて、保育園の登降園時間管理や保育日誌等をデジタル化することで、利便性や事務作業効率を上げ、安全な保育を提供します。

また、保育満足度とニーズ把握のための利用者アンケート調査を令和4(2022)年2月より開始しました。定期的にこのアンケート調査を行い、状況に応じた保育の提供を検討していきます。



やよい保育園利用者アンケート

やよい保育園では保育園をより利用しやすくまた安心してご利用いただくために、利用者の方のご意見を伺い、保育園の運用の改善を図っていくことを目的にアンケート調査を実施することとなりました。

本アンケートの回答は自由意志で無記名です。アンケートへのご回答によってご回答者の方に不利益を生じることはありません。

アンケートの趣旨を理解しアンケートの回答に同意いただける場合は以下のチェックボックスにチェックを入れ、続く質問にお答えください。

実践的介護支援体制の構築

特色型では本学教職員がキャリアと介護を両立し活躍することができる環境整備を目指し、キャリアと介護の両立ハンドブック配布、介護相談窓口設置等に取り組んできましたが、令和元(2019)年度に本学全教職員を対象に実施した「介護に関するアンケート調査」の回答からは介護に対する不安を訴える声が非常に多く、同時に仕事と介護の両立を望む声が大多数である、といった現状が明らかになりました。また一方で「本学の介護支援制度を全く知らない」との回答も多数ありました。

本事業では新たな施策と共に介護支援制度を周知することで、介護支援制度利用者比率をこれまでの約0.3%から0.6%へ、さらにそれ以上に引き上げ、女性研究者が安心して研究に専念できる環境を整備していきます。

◆介護現状・ニーズ調査の実施

令和3(2021)年12月に、全教職員を対象とした育児および介護の現状・ニーズ調査として「育児・介護に関するアンケート調査」を実施しました。(アンケート結果は52～60ページ参照)

◆介護見守り支援サービス“ちょこっと介護見守り支援”の新設

「女子医大・東京医大ファミリーサポート」を委託している特定非営利活動法人子育てネットワーク・ピッコロのファミリーサポートのノウハウを活用した、新たな介護見守り支援サービス“ちょこっと介護見守り支援”を令和4(2022)年度より新設します。

本年度は新設に向けて、上記の「育児・介護に関するアンケート調査」の中で具体的な利用希望に関する調査を行う等、具体的な支援内容を検討し、令和4(2022)年1月28日に説明会、2月18日に介護講習会、2月25日に介護実習を実施し、提供会員6名が誕生しました。

また“ちょこっと介護見守り支援”案内リーフレットを作成し、全教職員に配布しました。



令和4(2022)年1月28日 説明会の様子



令和4(2022)年2月18日 講習会の様子

令和4(2022)年2月25日 介護実習の様子



研究支援員制度における対象者範囲の拡大

特色型では、ライフイベントにより研究活動の継続や研究時間の確保が困難となった女性研究者や、これまでに十分な実績がある将来有望な女性研究者を支援し、研究活動をより活発にするため、研究者1名に対して支援員1名分の人件費を女性医療人キャリア形成センター基金等から拠出する「研究支援員制度」を創設しました。

本事業では、女性研究者に加え、育児中または介護中の男性研究者1名の支援枠を新たに設けました。令和3(2021)年度は募集要項作成、審査体制の準備を行い、令和4(2022)年度より募集・支援を開始します。(支援員の人件費は女性医療人キャリア形成センターより拠出)

● ダイバーシティ研究環境整備 リーフレット

◆ 育児・介護に関するアンケート調査

グローバルスリーダー育成と育む女性学者
「FYAOI」プロジェクト
Your Attention to Your Own Innovation
〔東京女子医科大学におけるダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先導型）実施に係る研究〕

**育児・介護に関するアンケート調査への
ご回答について（お願い）**

女性医人キャリア形成センター
ダイバーシティ環境整備事業推進室

東京女子医科大学ではこれまで独自の高度な学識・技能を有する人材を輩出してきました。この取り組みは、日本でも先進的な取り組みの一つとして、国内外に高く評価されています。さらに、東京女子医科大学には、東京女子医科大学に在籍する女性医人・研究者の育児・介護に関するアンケート調査を実施し、その結果を踏まえ、東京女子医科大学の学識・技能を有する人材の育成・確保に努めます。アンケート調査の結果は、東京女子医科大学の学識・技能を有する人材の育成・確保に努めます。アンケート調査の結果は、東京女子医科大学の学識・技能を有する人材の育成・確保に努めます。

回答は、下記のQRコードまたは女性医人キャリア形成センターHPからお願いいたします。

QRコードは、女性医人キャリア形成センターHPからご取得いただけます。
URL: <https://forms.gle/VcnpWoz3TuY73Uy6>

1. 調査回答フォーム(所要時間約2〜3分程度)
女性医人キャリア形成センターHPからご回答いただけます。

2. 倫理審査について
このアンケート調査は東京女子医科大学倫理審査委員会によって審査され、承認を受けて行われます。研究期間以下のとおりです。(承認番号：2021-0152)
2021年12月15日～2023年3月31日

3. アンケートへの協力について
アンケート調査への協力は自由意思です。ご協力いただける場合は調査回答URLをクリックしてアンケート回答ページへアクセスしてください。アンケート回答ページには、アンケート調査の目的や調査結果の活用方法について説明しています。アンケート調査の結果は、東京女子医科大学の学識・技能を有する人材の育成・確保に努めます。アンケート調査の結果は、東京女子医科大学の学識・技能を有する人材の育成・確保に努めます。

4. 個人情報保護について
アンケート調査の結果は、匿名で集約して分析されます。個人情報は厳格に管理され、第三者に提供することはありません。アンケート調査の結果は、東京女子医科大学の学識・技能を有する人材の育成・確保に努めます。アンケート調査の結果は、東京女子医科大学の学識・技能を有する人材の育成・確保に努めます。

5. 個人情報等の取扱いについて
回収したアンケートは、研究責任者と研究分担者が研究目的のみに利用し、その他の機関へ提供しないものとさせていただきます。
研究の成果は、学会や科学雑誌などの発表に活用される場合がありますが、ご本人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。尚、本研究で集られたデータを2次利用する場合は、倫理審査委員会にて承認を得た上で実施し公開します。

6. 研究担当者と連絡先（相談窓口）
この研究について、何か質問したいことや不安な点などございましたら、以下の研究担当者にお願いいたします。

7. 研究担当者
◎ 調査員 加代子 東京女子医科大学 女性医人キャリア形成センター 副センター長
本多 祥子 東京女子医科大学 高層部（神経分子疫学分野） 准教授
◎ 総務 田島 東京女子医科大学 女性医人キャリア形成センター センター長
◎ 広報 原子 東京女子医科大学 臨床検査科 教授
◎ 研究責任者 藤原 理子 東京女子医科大学 後生学公衆衛生学 教授

8. 連絡先
東京女子医科大学 高層部（神経分子疫学分野） 本多祥子
女性医人キャリア形成センター 副副加代子
住 所： 東京都新宿区西田町8-1
電 話： 03-3353-8112（内線30165, 30166）

女性医人キャリア形成センター事務局
03-3353-8112 内線 30165, 30166
cdc.brn@twmu.ac.jp

◆ 学会参加時等の託児費補助制度

令和3年度文科省科学研究費助成事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先導型）」

託児費補助制度ははじめます
令和3年度受付締切：令和4年2月4日（金）

国内・国際学会、地方会、研究会、研修会など（オンライン含む）に参加し、対象となる託児サービスを利用した場合、利用料金の一部または全額を補助する制度です

※ 令和3年度については令和3年11月1日から令和4年1月末までにかかった託児費が補助対象になります

対象者
・12歳（小学生）以下の子どものを持つ東京女子医科大学に在籍する女性医師等女性研究者（ただし非常勤、大学院生を除く）

※対象となる子ども一人につき1回1万円までの金額

対象となる託児サービス

- ・一時預かり保育（本学施設内の院内保育所）
- ・ハピニッダー派遣サービス(全国保育サービス協会加盟事業者に限る)
- ・「女子医大・東京医大ファミリーサポート」による育児支援
- ・関連学会等の託児サービス

お問い合わせ先
女性医人キャリア形成センター
ダイバーシティ環境整備事業推進室

実施要項・申込書類はホームページをご覧ください

mail: cdc.brn@twmu.ac.jp
tel: 03-3353-8112 内線30166

◆ 院内保育所利用者アンケート調査

令和3年度文科省科学研究費助成事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先導型）」
「FYAOI」プロジェクト
Your Attention to Your Own Innovation

保護者の皆様へ

やよい保育園利用者アンケート調査へのご回答について（お願い）

本学より、本院の保育活動にご理解・ご協力をいただいております。東京女子医科大学では、令和3年度文科省科学研究費助成事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先導型）」が採択され、院内保育所として保育制度の整備を実施する運びとなりました。

つきましては、やよい保育園では保育園をより利用しやすい安全安心にご利用いただくために、利用者の方のご意見を伺い、保育園の運用の改善を図っていくことを目的に毎月アンケート調査を実施することになりました。

ご自身のアンケートは、匿名で実施し、ご回答の集まりをまとめてご報告いたします。なお、本アンケートの回答は匿名で集約し、アンケートへのご回答により、ご回答のやり取りは行いません。

回答期間 毎月10日まで
回答時間 2〜3分程度
回答方法 下記ウェブサイトからご回答をお願いします。
<URL> <https://forms.gle/VcnpWoz3TuY73Uy6>
<QRコード>

本件のお問い合わせ先
ダイバーシティ環境整備事業推進室
担当：下村 優子
電話：30166
メール：cdc.brn@twmu.ac.jp

◆ “ちょこっと介護見守り支援”案内リーフレット

令和3年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(充実型)」

介護サポート ちょこっと介護見守り支援

本学職員の家族に対して介護保険適用外の
簡単な生活援助を提供する支援

令和4年度から 始まります!

※詳細は改めてご案内します



東京女子医科大学 女性医療人キャリア形成センター
ダイバーシティ環境整備事業推進室

Your Attention to Your Own Innovation!
グローバルヘルスリーダー育成と実証する女性活躍「WAGI」プロジェクト

会員登録をした「依頼会員」と「提供会員」の
相互援助活動の調整をアドバイザーが行います



新たに介護支援「ちょこっと介護 見守り支援」事業をスタート
いたします。地域において介護の援助を行いたい方と家族の介護
の援助を受けたい方からなる会員組織です。アドバイザーが中心
となり、その会員による仕事や育児と介護との両立支援のための
相互援助活動の調整及び講習会の開催等の業務を行います。
女子医大職員が安心安全に暮らせる環境づくり家族まるごと支
援を目的としています。

依頼会員とは
東京女子医科大学に在籍し、介護支援を必要とする方、育休中、
非常勤、学生、男性も利用できます。

提供会員とは
介護見守り支援を行いたい方で、講習会を修了された方が登
録します。令和4年の支援開始時は、もともと「女子医大・東京
医大ファミリーサポート」に登録されている提供会員の中から
希望者を募り、講習会を修了された方が提供会員として活動し
ます。今後、女子医大関係者や地域の方も含めて募集を検討し
ていきます。



1人で
介護のこと悩んでいませんか?

ほんの少しお手伝いしてもらえたら安心なんだけど…
仕事を休むほどじゃないけど、ほかに誰もいないし…

例えば…

- 掃除
洗濯の手伝い
- 安否確認
- 食事の準備や
後片付け
- 外出のヘルプ
病院の付き添い

※専門技術を要するもの、緊急性のあるもの、医療行為や危険
が伴う活動は除きます

「ちょこっと介護見守り支援」は令和4年度から、まずは新宿
近郊にお住いの方を対象に開始予定です。
詳細はまた改めてご案内いたします。

【お問い合わせ】

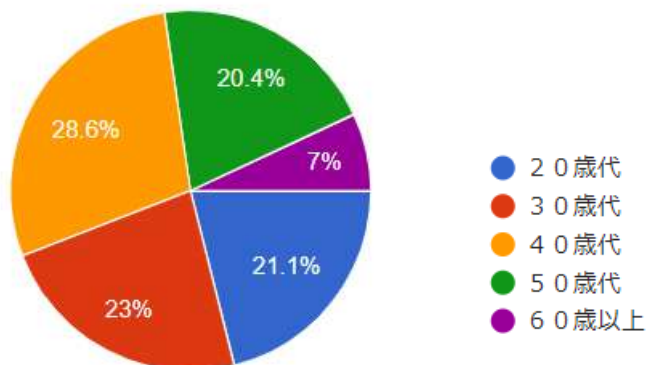
東京女子医科大学 女性医療人キャリア形成センター
ダイバーシティ環境整備事業推進室
TEL 03-3353-8112 内線30165,30166
MAIL cdc_bm@twmu.ac.jp



育児・介護に関するアンケート調査結果（抜粋）

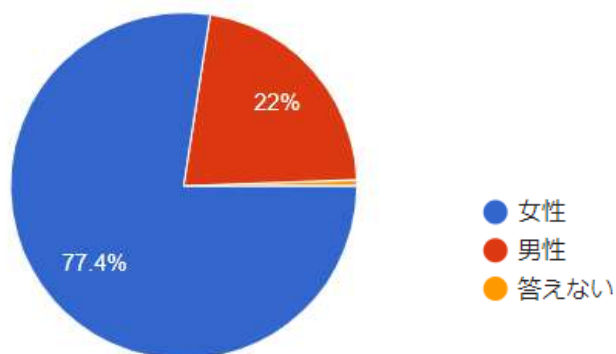
ご年齢は？

1,796 件の回答



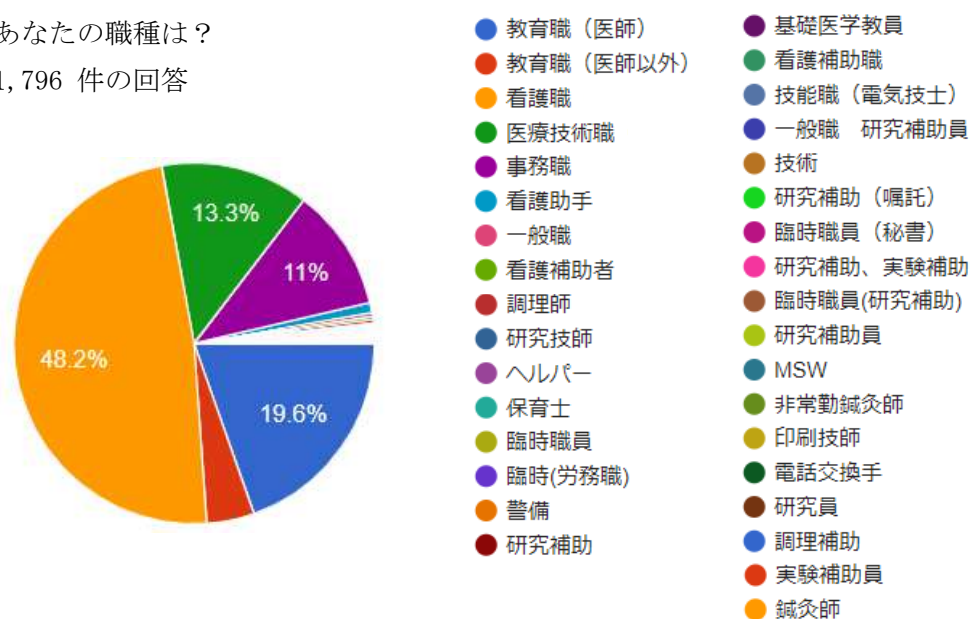
性別は？

1,796 件の回答



あなたの職種は？

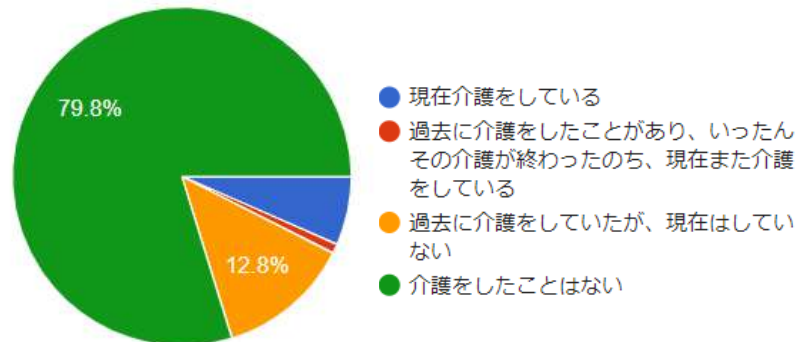
1,796 件の回答



介護状況

あなたは介護をしていますか？もしくは、していましたか？

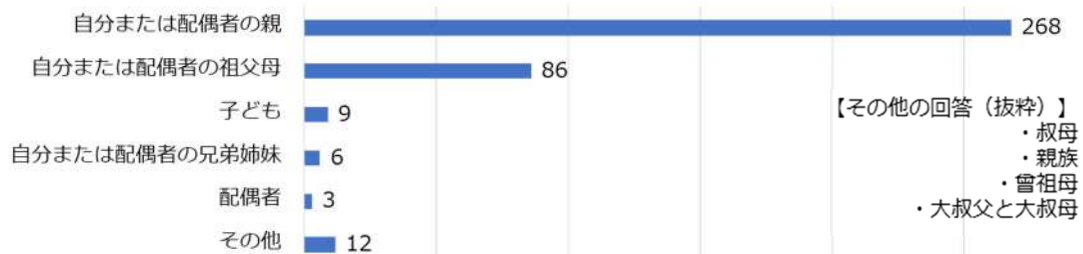
1,796 件の回答



上記で「現在介護をしている」「過去に介護をしたことがあり、いったんその介護が終わったのち、現在また介護をしている」「過去に介護をしていたが、現在はしていない」と回答した方

介護を要している（要していた）方はどなたですか？（複数回答可）

363 件の回答



介護を要している（要していた）方はどちらにお住まいですか？（複数回答可）

（※「別居」＝施設入居を含みます）

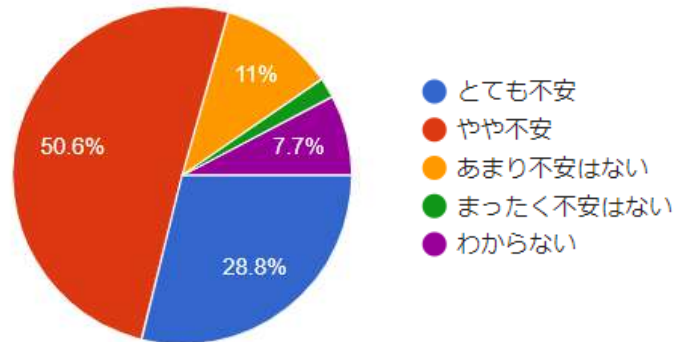
363 件の回答



介護への不安

現在もしくは将来の介護にどの程度不安を感じていますか？

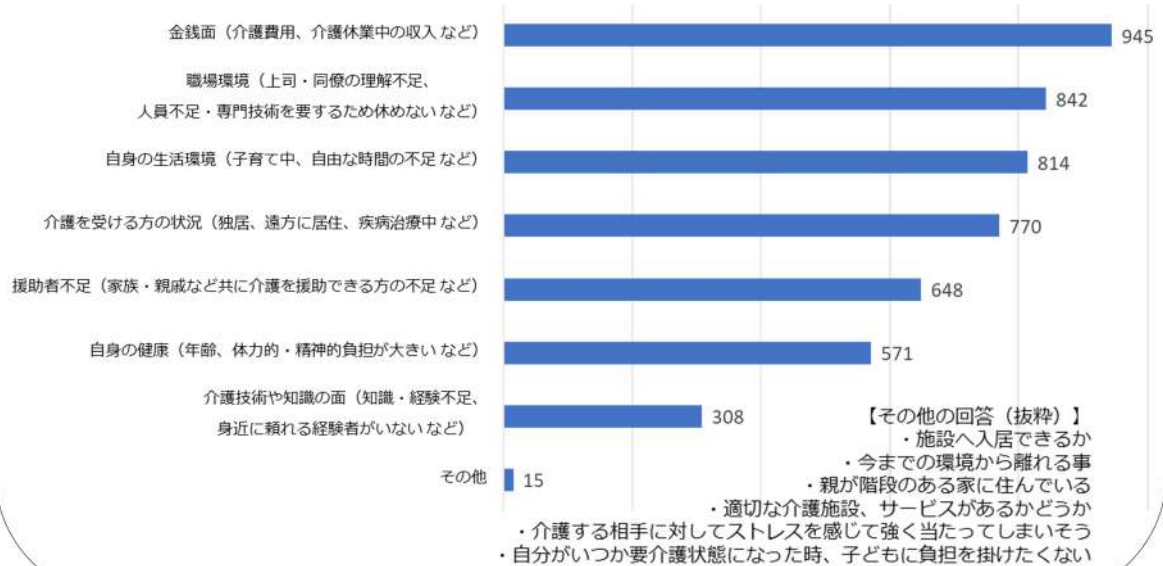
1,796 件の回答



上記で「とても不安」「やや不安」と回答した方

介護について、不安を感じる理由は何ですか？（複数回答可）

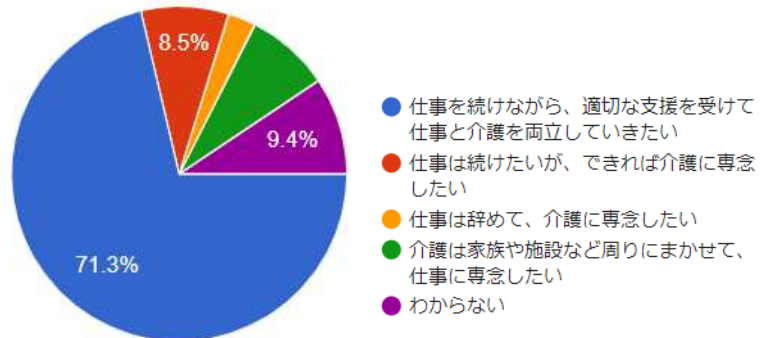
1,426 件の回答



介護に対する考え、学内制度など

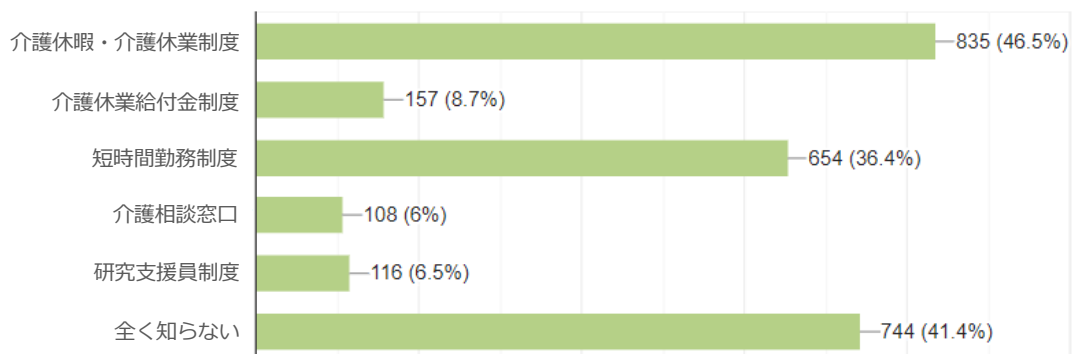
仕事と介護のバランスはどのような形が望ましいですか？

1,796 件の回答



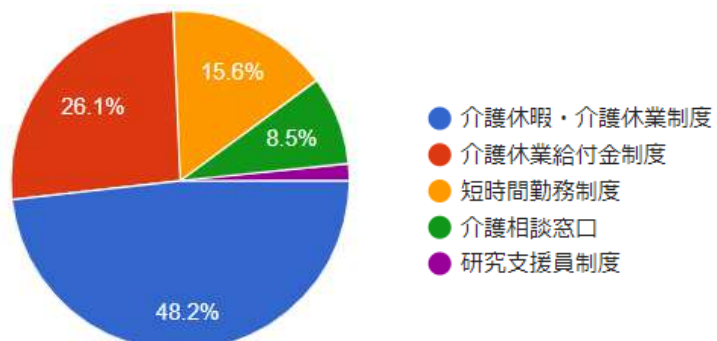
女子医大教職員のための介護支援について、どのようなものをご存知ですか？

1,796 件の回答



女子医大教職員のための介護支援について、最も役立つ（役立った）と思われるのはどれですか？

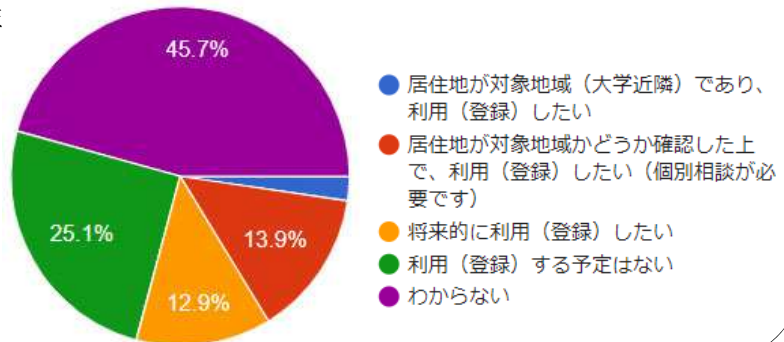
1,796 件の回答



女子医大ファミリーサポートに介護見守り支援*の導入を計画しています

「女子医大ファミリーサポート」に介護見守り支援が導入された場合、利用（登録）したいと思いま

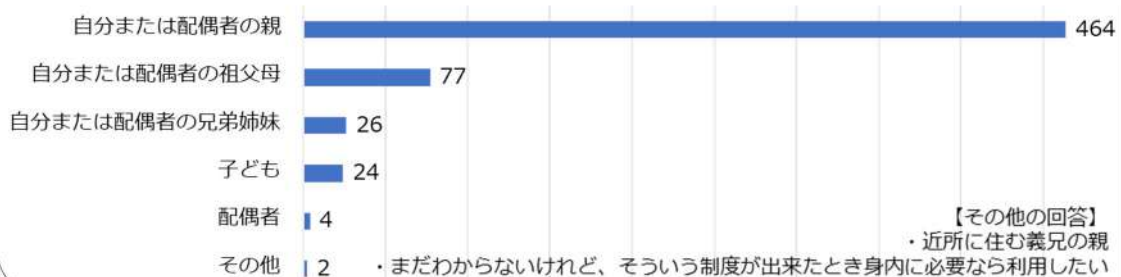
1,796 件の回答



質問1で「利用（登録）したい」と回答した方

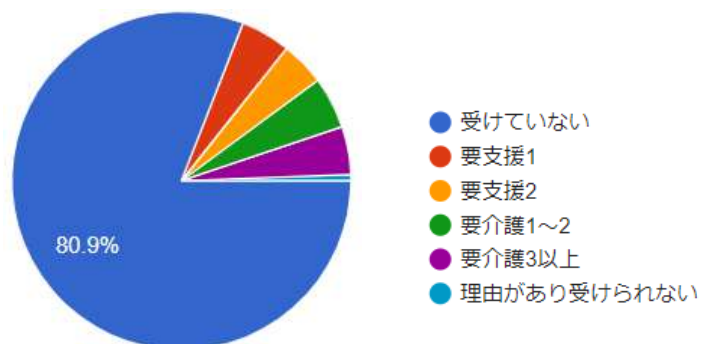
見守り支援を必要とするご家族はどのような方ですか？（複数回答可）

524 件の回答



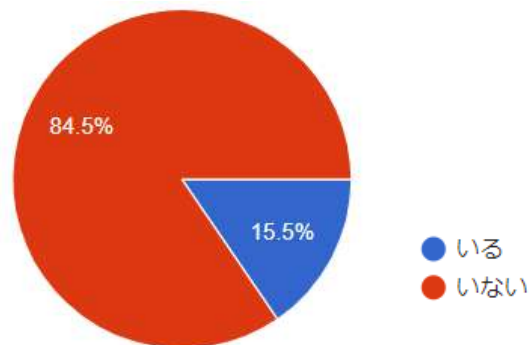
その方は介護認定を受けていますか？ 受けている場合は該当するものをチェックしてください。

524 件の回答



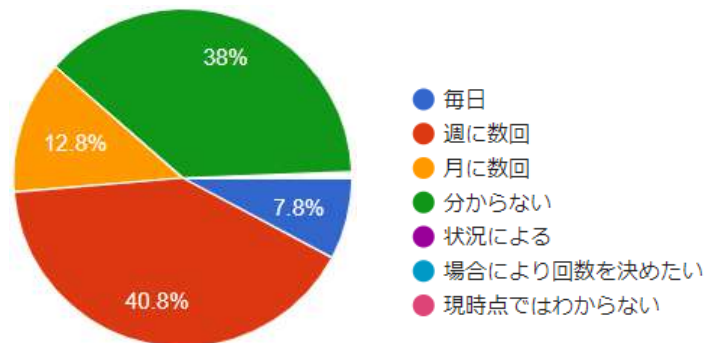
担当のケアマネージャーはいますか？

524 件の回答



「女子医大ファミリーサポート」の介護見守り支援を利用する場合、どの程度の利用を希望しますか？

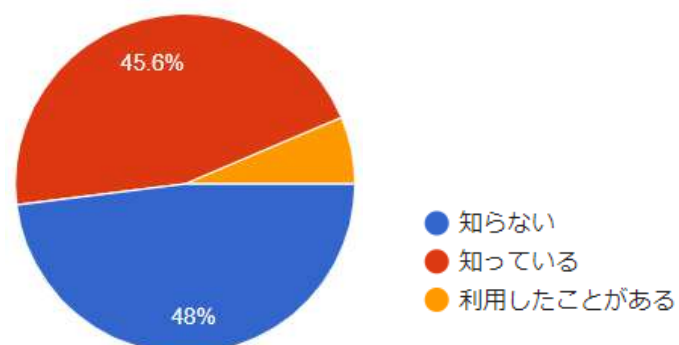
524 件の回答



本学で実施されている以下の育児支援について当てはまるものを選んでください。

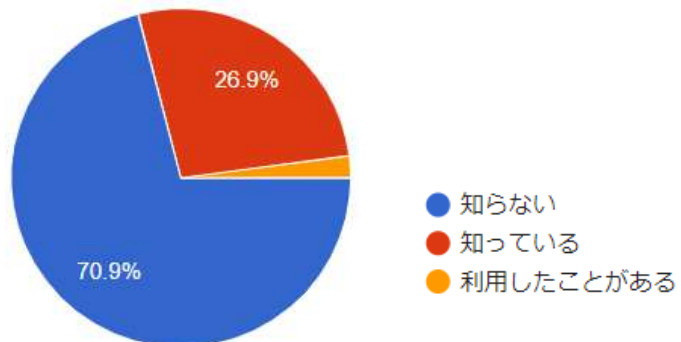
院内保育所(やよい保育園)での昼間保育(7:30~18:30)

1,796 件の回答



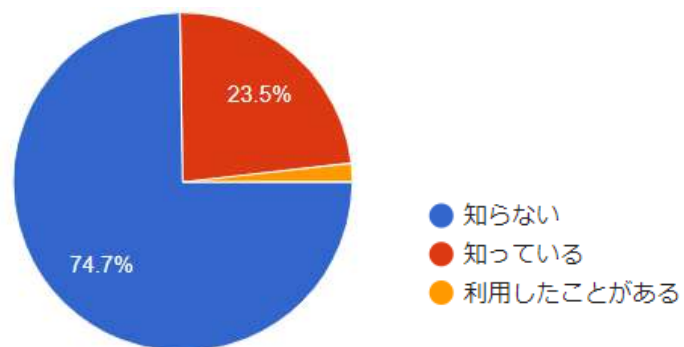
院内保育所(やよい保育園)での延長保育(18:30~20:00)

1,796 件の回答



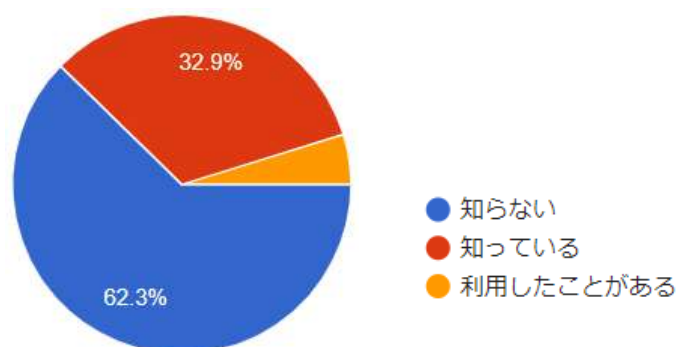
院内保育所(やよい保育園)での夜間保育(20:00~7:30)

1,796 件の回答



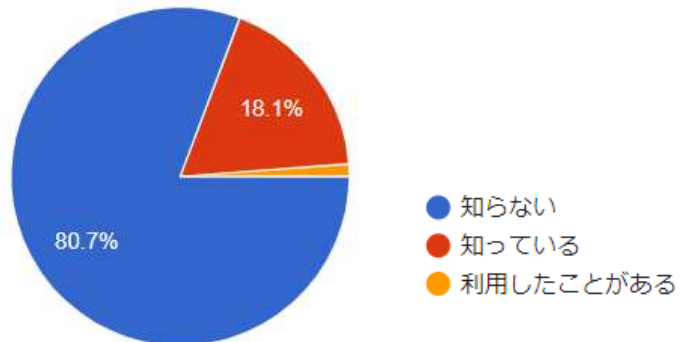
院内保育所(やよい保育園)での病児保育(8:00~18:00)

1,796 件の回答



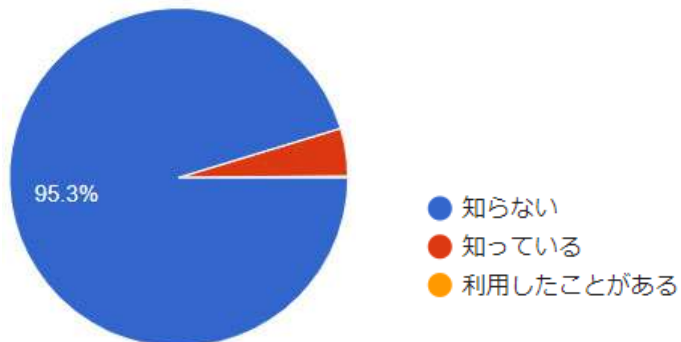
院内保育所(やよい保育園)での休日保育(8:00~18:00)

1,796 件の回答



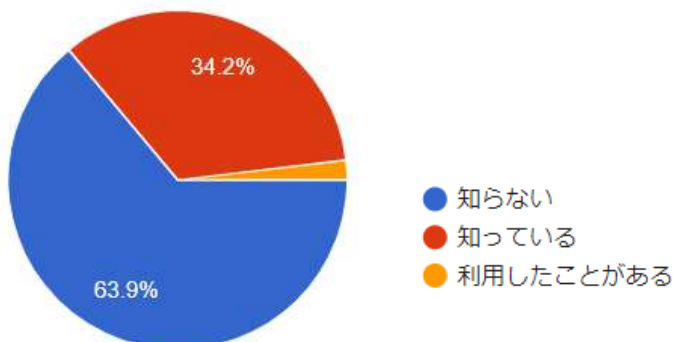
院内保育所(やよい保育園)が定員に達している場合の提携保育園の利用

1,796 件の回答



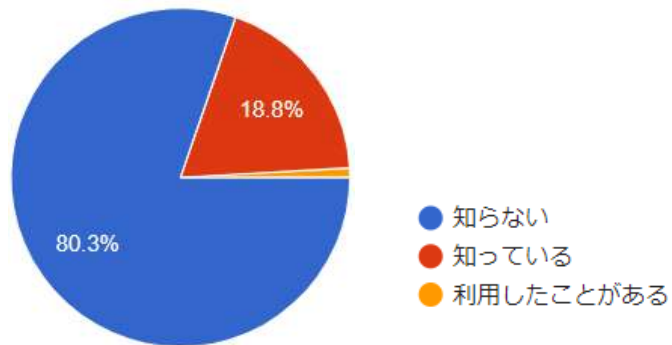
女子医大・東京医大ファミリーサポート

1,796 件の回答



ベビーシッター割引券

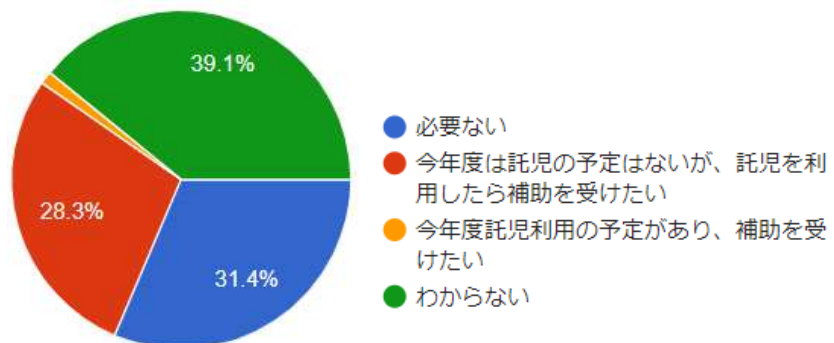
1,796 件の回答



今後本学では、学会参加時の託児費補助制度の新設と、平日および休日の一時預かり保育制度の整備を実施します。両制度に関する以下の内容について当てはまるものを選んでください。

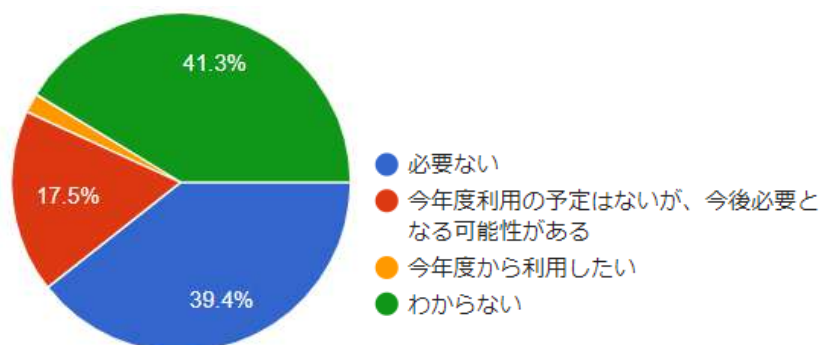
学会参加時に託児を利用した場合に託児費の補助を受けたいですか。

1,796 件の回答



院内保育所(やよい保育園)での休日一時預かり保育を利用したいですか。

1,796 件の回答



V その他の取組

グッズの作成

本事業を学内に浸透させ、全学体制で取組を推進するため、学内配布用のメガネ拭きクロスとクリアファイルを作成しました。

メガネ拭きクロスは研究支援補助制度（「英語論文掲載料補助制度」「AI 講習会、研修会参加費補助制度」「学会参加時等の託児費補助制度」）の案内と合わせて本学女性研究者約 3500 名に、クリアファイルは「育児・介護に関するアンケート調査」依頼文書を入れて本学全教職員約 6000 名に配布しました。

◆メガネ拭きクロス



◆クリアファイル



お問い合わせ先一覧

●育児について (46 ページ)	ファミリーサポート室	人事課(院内保育所)
	03-5369-9075 または 03-3353-8112(内線 41152)	03-3353-8112 (内線 30114 または 30115)
	河田町 女性生涯教育支援センター1階	河田町 総合研究棟 1階 事務局内

●介護について (48 ページ)	人事課(介護相談窓口)	
	03-3353-8112(内線 30111 または 30113)	
	河田町 総合研究棟 1階 事務局内	

●上記以外の ダイバーシティ事業に ついて	女性医療人キャリア形成センター	センターHP 
	03-3353-8112(内線 30166)	
	cdc.bm@twmu.ac.jp	
	河田町 総合研究棟 1階	

文部科学省科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）
令和3年度報告書

発行 令和4(2022)年3月
編集 ダイバーシティ環境整備事業推進室
(女性医療人キャリア形成センター)
MAIL cdc.bm@twmu.ac.jp
URL <http://www.twmu.ac.jp/gender/divercity/>



学校法人 東京女子医科大学

女性医療人キャリア形成センター
ダイバーシティ環境整備事業推進室

〒162-8666 東京都新宿区河田町 8 番 1 号

TEL : 03-3353-8112 (内線 30166)